

教科用図書調査研究調書

中学校

種	目	ページ
国語	国語	1 ～ 4
	書写	5 ～ 8
社会	地理的分野	9 ～ 12
	歴史的分野	13 ～ 21
	公民的分野	22 ～ 27
	地図	28 ～ 29
数 学		30 ～ 36
理 科		37 ～ 41

種	目	ページ
音楽	一般	42 ～ 43
	器楽合奏	44 ～ 45
美術		46 ～ 48
保健体育		49 ～ 52
技術・家庭	技術分野	53 ～ 55
	家庭分野	56 ～ 58
英語		59 ～ 64
道徳		65 ～ 71

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 新しい国語）
1 教科の目標からの配慮	・ 社会生活で国語を「正確に理解」し「適切に表現」することを念頭におき、習得すべき知識及び技能が示されている。 ・ 「話すこと聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習を通して思考力、判断力、表現力等を育成する教材が配列されている。 ・ 多様な言語活動が位置付けられていて、主体的に学びに向かう工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 「言葉の力」として育成する資質・能力が明示されていて、学年が進む中で学習が発展的になるよう配慮がなされている。 (2) 課題解決的な言語活動が多く、生徒同士が話し合う活動を通して考えを深め、互いの考えを生かして結論をまとめるなど、協働的な学びを充実させられるよう工夫がなされている。 (3) 本文には、教科書体のフォントに近い様式の明朝体を使用し、下部の注釈欄にある漢字の送りがなや注目語句にはゴシック体を使用するなど、発達段階に応じた読みやすい配慮がなされている。 (4) 未習漢字だけでなく、小学校で学習していない漢字には全て、教材の初出箇所ですりがなを付けており、漢字を不得意とする生徒への配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 学年ごとに教材や言語活動を系統立てて位置付けていて、段階的に指導できるよう単元が配列されている。 (2) 全ての領域において、何に注目して学び、振り返るのかを示してあることで、見通しをもって学習に取り組めるよう配慮がなされている。 (3) 「読むこと」の領域における「広がる言葉」では、作品中の表現と関連する言葉を学ぶことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにできるよう工夫がなされている。 (4) 「文法の窓」では、内容を図式化し、理解しやすくなるよう工夫がなされている。 (5) 単元末の「振り返る」において、「言葉の力」を箇条書きと図解で示すことで視覚的な支援がなされ、学びやすいよう配慮がなされている。 (6) 単元ごとの「手引き」では、課題解決に向けた思考の流れを「見通す」から「振り返る」までの5段階に分けて明確に示しており、指導者と学習者どちらの視点からでも学習に向かいやすくなるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	・ 「未来を考えるための九つのテーマ」を明示し、3領域の学習を通して多様なテーマの認識を深められる教材となっている。 ・ 個別最適な学びの充実に向け、QRコードの配置がつまずきや学習の広がりに対応した場所に工夫されており、図解の説明や、作者のコメントなどから学びを深めることができる。
5 総合所見	・ 全体に、学んだ力を次の学習場面で活用し、生徒たちが実生活につなげながら主体的に取り組める工夫がなされている。 ・ 系統ごとに取り組む方を具体的に示すことで、効果的な学習展開を組みやすい配慮がなされている。

採択基準	発行者名 三省堂（現代の国語）
1 教科の目標からの配慮	・ 文字、音声言語それぞれの分野、形態を網羅した教材配列がなされ、特に「読むこと」と「書くこと」の連続性と対話的な学びを促す「話すこと」が意識されている。 ・ 学習過程や思考の方法等を視覚的に示すことで、様々な読みの方略が実感をもって積み重なり、課題解決に向けた力が育成されるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 「学びの道しるべ」としてその学習にふさわしい「思考の方法」が全ての学年で示され、課題解決過程において活用できる「読み方」とその活用方法が視覚的に設定されている。 (2) 幅広い時代、ジャンルの作品が取り上げられているほか、現代的な課題を題材とした教材、他教科とのつながりのある教材が配置されたり、多様なテーマ例や学習コースが例示されたりするなど、個別最適な学びや主体的に学びを深められるような配慮がなされている。 (3) 生徒相互の対話を促したり、「読み方」と連動して対話を促進したりするなど対話を中心として主体的な学習ができるよう題材が用意されている。 (4) 明朝体・ゴシック体・教科書体が本文・見出し・新出漢字で使い分けられており、カラーユニバーサルデザインとして色使いだけでなく、色以外で区別できる手がかりを設けることで、文字や情報が識別しやすい配慮がなされている。 (5) 教科書上段は本文、下段は言語に関する情報を掲載したり、学びの道しるべでは見開き1ページで完結するレイアウトにしたりなど、視覚的に理解しやすいように整理されているほか、学習内容や「読み方」に関するQRコードが掲載され、個別最適な学びを保障している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 各教材の学習過程に、「思考の方法」・「読み方」、また国語で扱われる用語や読みの方略を図で示し、「知識及び技能」と各領域の学びが具体的に関連付けられるよう工夫がなされている。 (2) 読み方セット教材として説明文教材の最初に基本的な「読み方」を学べる教材が配置され、小学校との接続、本教材との接続等への配慮がされている。 (3) 全学年の最初にグループディスカッションの単元を組んだり、各教材で生徒相互の対話や考えの共有など協働的な言語活動の場を設けたりして、対話的な学びが充実するような構成となっている。 (4) 単元冒頭に「目標」を明記し、さらに重点にはハイライトをつけることによって学びを焦点化し、末尾には「振り返りのキーワード」を明記することで、生徒が自ら学習を振り返ることができるように配慮がなされている。 (5) 全学年において、「読むこと」と「書くこと」の学習が関連付けられた単元があり、学習した内容を次に生かせるような教材の配置がなされている。
4 全体的な特色	・ 簡易的な図を多用することで学び方が感覚的に分かるよう配慮されたり、各学年で「読み方」や「思考の方法」についても段階的に示されたりしており、学びの活用場面が設定されることで、実感を伴って力が高まる構成になっている。 ・ 「読むこと」「書くこと」それぞれの内容や学び方についての資料などが充実し、さらに「読むこと」と「書くこと」の関連が図られ、学びの連続性が意識しやすい構成になっている。
5 総合所見	・ 小学校からの接続が容易であり、スモールステップで学びを進めていける構成で、どのような学習者にとっても使いやすい教科書の作りとなっている。 ・ 視覚的にわかりやすく、さらに、「読み方」や「学び方」が例示され、その活用もくりかえし行われることで「国語の力」として何を高めていくのかが、学習者も指導者もわかりやすい教科書の作りとなっている。 ・ 以上の理由から、国語の教科用図書として適していると考える。

採択基準	発行者名 教育出版（伝え合う言葉 中学国語）
1 教科の目標からの配慮	- 各単元や教材の目標、内容が明確であり、3学年で系統的・段階的に学習が進められるように構成されているので、言語力の高まりを実感しながら学びを積み上げていくことができる。 「目標」だけではなく、「学びナビ」（何を学ぶか、どのように学ぶか）、「みちしるべ」（学習のプロセス）、「振り返り」（目標に即した振り返り）などの「学びの三つのポイント」があることで、生徒が主体的かつ自覚的な学びを行っていくことができる。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 一年生冒頭には「入門期教材」を置き、小中間の円滑な接続を図るとともに、段階的に難易度の高い教材を配置して、学習を反復的・螺旋的に進めることができるよう構成されている。 (2) 現代を生きる中学生が向き合う多様かつ今日的な課題をとりあげた教材（SDGs や情報・メディア等）が選定されており、様々なものの見方や考え方にふれながら、資質・能力を育んでいく場が設定されている。 (3) 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の教材末尾に「学びを生かす」という項目が設けられており、学んだことを国語の授業内にとどめず、他教科の学習や社会生活に生かしていこうとする意欲を高めていく工夫がなされている。 (4) 学年の基本色を設定し、統一的で落ち着いた色使いとデザインになっている。また、ユニバーサルデザインに対応した独自の教科書体やデジタル機器で表示した際の視認性が向上した書体を採用することで、漢字学習や「書くこと」の習熟への配慮がなされている。 (5) 「まなびリンク」（QRコード）では、生徒の主体的な学習や、個別最適な学びを図る多様なデジタル資料が用意されており、国語の学習を補助したり意欲を高めたりする工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 教材の始めに「学びナビ」を設け、学習のポイントを視覚化・明確化することで、明確な見通し、ゴール、重点をおさえながら学習を進められるような工夫がなされている。 (2) 単元・題材の関連性や連続性をもたせ、「習得」と「活用」を螺旋的に繰り返しながら学びを積み重ねていくよう配列されている。 (3) SDGs 教材が全学年で設定されており、生徒一人一人が「正解のない問い」に向かって、探究的に学びを深めていけるような工夫がなされている。 (4) 各教材の目標と振り返りにおいて、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」の事項をおさえるとともに、振り返りでは「主体的に学習に取り組む態度」に関わる項目も加え、評価の観点を明確かつ詳細にしている。 (5) 生徒の理解を助ける資料性の高い写真・図版・写真などが各単元、分野において用いられている。
4 全体的な特色	- 国語科での学びがつながるよう、日常生活や他教科の学びと関連が図れるような教材や言語活動例が取り上げられている。 - 自覚的な学びを行うポイントを明示するとともに、自覚的に習得した資質・能力を、国語の授業のみならず、他教科、日常生活で自在に活用していくことができるような工夫がなされている。
5 総合所見	- 単元冒頭の「学びナビ」で身に付けたい力や学習活動が明示されており、生徒が見通しをもち主体的に学びを進めていけるとともに、教師にとっても授業を構築しやすく、学びをスムーズに進めていくことにつながると思われる。 - 国語で習得した資質・能力を様々な場面で活用・発揮でき、「教科等横断的な学び」につながる内容や構成になっている。

採択基準	発行者名 光村図書出版（国語）
1 教科の目標からの配慮	・実際に主体的に活用できる知識及び技能を習得しながら、社会生活に活かせる力を育成することができるように工夫がなされている。 ・言語活動が組み込まれた学習過程が提示され、互いに伝え合う力や論理的に思考し想像する力を高められるように配慮されている。 ・我が国の言語文化に関わる題材を多く扱い、その能力の向上を図る態度を養えるよう工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 「学びへの扉」「学びのカギ」では学習の流れが一覧でき、学習の過程や思考の順序に沿って見通しがもてるように工夫されている。 (2) 1学年で身近な題材を学び、3学年で生き方や広く社会に関わる題材を学んでいく構成になっており、生徒の言語環境と発達段階に応じて、学習意欲が喚起されるような構成になるよう工夫されている。 (3) 教材は、生徒の発達段階に応じて段階的かつ系統的に配置され、特定の時期に偏らず、軽重をつける等、バランスが良くなるよう工夫されている。 (4) 日常生活に関連するような問いを基にした学習活動が設定されており、主体的・対話的な学習が促されるよう工夫されている。 (5) ユニバーサルデザインフォントの使用や図表における色覚特性への配慮、生徒の発達段階に応じた字詰めや行詰め等、読みやすさへの工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 全領域に「学びのカギ」が示されており、育成すべき資質・能力が理解しやすいだけでなく、領域を超えて活用できるように、単元相互の関連性や連続性が有効に図られている。 (2) 「語彙ブック」「思考のレッスン」「情報整理のレッスン」等知識及び技能に関する資料を用いて、3領域の学習と関連付けて、視覚的な資料を用いて段階的・系統的に学習できるよう工夫がなされている。 (3) 巻頭・巻末や教材中にさし絵や写真、図・グラフ等が掲載されており、目的に応じて効果的に活用できるよう配慮がされている。 (4) 生徒の発達段階に合わせて、系統的に学習ができるようにバランス良く教材が構成されている。 (5) 「言葉による見方・考え方」を働かせて自分の言葉で表現する学習が単元ごとに示され、それについて意見や感想を伝えたり述べたりして、相互に関わり合う活動が提案されている。 (6) 「振り返る」が本教材のあとに設けられ、評価の観点が明確になるとともに、自らの学びを言語化して振り返ることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・教科等横断的に取り扱える題材や、SDGs と関連する教材が選定されている。 ・「学びへの扉」により、活動を見通し対話的に考えを深め、資質・能力を育むことができるよう工夫されている。
5 総合所見	・生徒の発達段階に応じて、段階的・系統的にバランスよく学習でき、追究の見通しをもって学習できるよう工夫されている。 ・育成すべき資質・能力が理解しやすいように明示されているだけでなく、3領域を関連付けながら学習できるように配慮されている。 ・さし絵や写真、図・グラフ等が目的に応じて効果的に活用できるように配置され、文章とさし絵や写真、図・グラフ等を関連づけることで、読解を支援したり、それらの効果について学習したりできるように工夫されている。 ・Web コンテンツが充実しており、様々な言語活動で、生徒の興味関心に合わせ、主体的に深く学べるよう工夫されている。 ・以上の理由から、国語の教科用図書として最も適していると考えます。

採択基準 発行者名	東京書籍（新編 新しい書写）
1 教科の目標からの配慮	・「書写のかぎ」では、短時間で効果的・効率的に学習が進められるように、文字を整えて書くためのポイントが焦点化され、わかりやすくまとめられている。 ・「生活に広げよう」のページでは生徒にとって身近な活動を題材にして、身につけた力をどのように活用できるかを考えさせ、話し合いを通して、思考力・判断力・表現力を高められる工夫がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 楷書と行書の使い分け、場面や目的に応じた書き方など、発達段階に応じた教材文字が配置されている。 (2) 「文字といっしょに」に掲載されているコラムや活動では、文字文化への興味・関心が喚起されるよう工夫され、生徒が新たな視点で文字をとらえられるようになっている。 (3) 「見つけよう・確かめよう・生かそう」の3段階で単元を構成し、生徒の気付きから知識・技能の習得に進めるように配慮されている。 (4) 紙面に使う色や要素の数を抑え、原則として文節で改行することで、文章を読むことに困難を抱える生徒への配慮がなされている。 (5) 左手で筆を持つ場合の用具の置き方も取り上げ、誰にとっても学びやすい環境への配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 「書写のかぎ」は、段階的に学習事項を指導しやすいように配列されている。 (2) 楷書と行書の点画等の差を意識しやすいように比較し、それぞれの特徴や特性を端的に指導できる工夫がされている。 (3) 「書写活用ブック」で多様な題材を示していて、学びの意欲を高めたり、生活に役立てたりしようとする意識を育てられるよう工夫されている。 (4) 筆の運びを示す淡墨図や運筆動画につながる二次元コードの一覧があり、効果的に指導ができる工夫がされている。
4 全体的な特色	(1) 文字と生活のつながりを意識した内容になっていて、書写を学ぶ必要性や、楽しさを感じて主体的に学習できるよう配慮がなされている。 (2) 書写で身につけた力を日常で活用することを想起させ、思考力、判断力、表現力等を高める工夫がなされている。
5 総合所見	・全体に、学んだ力を日常で活用することに生徒たちが主体的に取り組める工夫がなされている。 ・効果的な指導がしやすいように、教材を段階的に配列し学習者が学びを見通せるように工夫されている。 ・以上の理由から、書写の教科用図書として適していると考える。

採択基準	発行者名 三省堂（現代の書写）
1 教科の目標からの配慮	・国語の教科書で扱っている詩や物語教材の内容などを関連させたページが設けられており、国語の授業と関連させながら指導することができるように工夫されている。 ・「学習の流れ」として学習展開が具体的に示されており、書き方を学ぶことと、書いて身につけることのつながりが理解できるようになっている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 文字を書く時のヒントがイラストや写真などで分かりやすく示されており、教師が全体指導をしたり、生徒が個人追究をしたりするのに有効活用できるように工夫されている。 (2) 「学力テスト問題」が2年生のまとめの時期に位置づいており、1～2年生で学んできたことの総復習をして学習内容を確認したうえで、3学年に進んでいくことができるように工夫されている。 (3) 各学年の書初めのお手本が、まとめて巻末に収録されており、実際に書く時にお手本が開きやすく見やすくなる工夫がなされている。 (4) 楷書と行書を比較して、共通点と相違点を理解したうえで、違いを意識しながら書くことができるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 毛筆の後に硬筆の学習が配置されており、授業で学んだことを日常生活に広めて生かすことができるようになっている。 (2) 国語の授業と関連させた学習内容が設定されており、生徒が目的を意識しながら主体的に取り組むことができるようになっている。 (3) 巻末に「資料編」として「日常の書写」「書写の広場」が収められており、書写で学んだことが日常生活で生かされる場面を知ったり、書写に関する様々な知識を学んだりすることができるように工夫されている。 (4) 各単元の最終ページに「振り返ろう」の視点が端的に示されており、生徒が自己評価をして新たな課題を持つことができるようになっている。
4 全体的な特色	・書くことのポイントが端的に示されており、必要な情報がわかりやすく配置されているので、集中して学習に取り組むことができる。 ・国語の教科書や学習内容との関連を多くして、生徒が興味関心をもって主体的に取り組むことができるように配慮している。
5 総合所見	・書写で学ぶ内容やつける力が明確になっており、2年生後半には「学力テスト問題」で具体的に学んだことの定着を確認して、生徒自身が身につけた学力を自覚することができるように工夫されている。 ・国語科の教科書との連携や日常生活に生かす場面などが、分かりやすく示されており、書写で学んだことを実践に生かすことができるように配慮されている。

採択基準	発行者名 教育出版（中学書写）
1 教科の目標からの配慮	・「書写を通して学んでいくこと」がイラストで示されており、視覚的・体系的に教科の目標を理解したり、今の学びがどこに位置づいているのか振り返ったりすることができるようになっている。 ・各学年の扉のページで、その学年で学ぶことが要点的に示されており、目標を明確に定めて学習に取り組むことができるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 教科書の横幅がA4サイズよりも大きくなっており、お手本の字を実際に書く時の書写用紙に近づけることで、お手本として使いやすくなっている。 (2) コラムとして書写に関わる知識が多数紹介されており、生徒が興味を持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。 (3) 各ページに、学習内容にかかわる写真やイラスト、作品例などがカラーで印刷されており、効果的に参照することができるように工夫されている。 (4) 各学習に「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」等の項目が示されており、目的を明確にして取り組むことができるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 書初めのお手本が折り込みページで入っており、実際に書くサイズに近いお手本として活用できるように工夫されている。 (2) 硬筆の学習で実際に教科書に書き込むことができるページが用意されており、実践的かつ効率的に硬筆の練習ができるように工夫されている。 (3) 毛筆の学習でも最初に硬筆で「試し書き」をして字形や運筆を確認したり、学習のまとめで「まとめ書きと応用」で再び硬筆で学習内容を確認したりすることで、学習内容の定着を図っている。 (4) 教科書の最初のページで、書写の目的が写真付きで要点的に示されており、生徒が興味や目的意識をもって、主体的に学ぶことができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・ただ単に文字をきれいに整えて書くだけでなく、そのように書かれた文字が生活の中でどのように生かされているか、目的に応じた文字の工夫にはどのようなものがあるのか、などを具体的に示して、生徒が目的を意識しながら主体的に取り組むことができるように配慮されている。 ・場面や目的に応じて書く文字について、生徒自身が「どのように学ぶか」を意識しながら取り組むことができるように配慮されている。
5 総合所見	・「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」という学習の流れを具体的に示し、生徒自身が明確な目的や見通しをもって、主体的に取り組むことができるように、配慮されている。 ・教科書のサイズを大きくすることで、手本を見やすくしたり、コラムなどの情報を増やしたりする工夫をして、生徒が興味関心をもって取り組めるように配慮している。

採択基準	発行者名 光村図書(中学書写)
1 教科の目標からの配慮	・ 学習展開が常に同じで、生徒が見通しをもって学習できる工夫がされている。 ・ 文字文化への興味や関心が高まるよう、コラムでは生徒が身近に感じられる資料を多く掲載している。 ・ 書写の基礎・基本、原則を明確に示し、知識及び技能が習得しやすいよう工夫がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 学年の発達段階に合わせて書体が見えやすく、国語教材や生活に関連した文字や言葉、文章が選定されている。 (2) 学校や日常生活で使われる手紙やはがき、原稿用紙等の書式といったものの活用例が載っていて、生徒の興味・関心が高まる工夫がなされている。 (3) 「考えよう」をきっかけにした気づきをもとに、「確かめよう」で原理・原則を確認し、「生かそう」で日常生活に生かす手がかりとすることができるよう工夫がなされている。 (4) 配色やフォントの使い分けで、学習者の混乱や読みにくさを解消する配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 学年に応じて段階的かつ系統的な単元配列をし、知識及び技能が確実に身につくよう工夫されている。 (2) 毛筆教材と「書写ブック」での硬筆教材の練習を相互に活用することで、基礎技能を的確に指導できる工夫がされている。 (3) 書写で学んだ知識及び技能を、日常の硬筆でも生かせるよう、生活の中にある楷書や行書例が掲載されている。 (4) 運筆などの動作を確認したいときに確認できるよう、二次元コードが配置されている。 (5) 全教材のはじめに目標が明示されており、学習への取り組みの中で個でも振り返りができるように構成されている。
4 全体的な特色	・ 「中学校書写スタートブック」や「書写ブック」が設けられ、毛筆を硬筆とつなげて学べるとともに、自主的に学ぶことができる。 ・ 学習内容の確認や、既習事項のふりかえりがし易いように、二次元コードや写真資料など視覚資料が配置されている。
5 総合所見	・ 書写の授業で学ぶ毛筆の知識・技能が、日常の硬筆に繋がり活用されるよう、教材全体が考えられている。 ・ 効果的に文字を書くために必要な、楷書と行書を使い分ける能力が身につくよう行書スイッチにより楷書と行書の違いやわかりやすく示されている。 ・ 以上の理由から、書写の教科用図書として最も適していると考えます。

採択基準	発行者名 東京書籍（新しい社会 地理）
1 教科の目標からの配慮	・持続可能な地域のあり方を考えられるように、地理的な課題の把握や改善点などを話し合ったり発表し合ったりする対話的な学習場面を充実させることによって、より良い持続可能な地域づくりに主体的に参画する態度や意識を養えるようになっている。 ・地理的な見方・考え方を働かせた「深い学び」が実現できるように、教科書の冒頭に地理的な見方・考え方を例示し、繰り返し参照できるようにすることで、見方・考え方を捉えられるようになっている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)生徒の多様性に配慮し、誰一人取り残されない学びのために、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルデザインフォントを採用し、読み取りやすい工夫がされている。 (2)単元の最初のページでは、これから学習する内容を分かりやすく示し、見通しをもって学習に取り組むことができる工夫がされている。 (3)「スキルアップ」のコーナーを設け、統計地図やグラフといった資料の読み取りや、地域調査・分析の手法などの技能を主体的に身に付けることで、社会的事象を読み取る力を伸ばせるように工夫されている。 (4)小学校の社会科や「スキル・アップ」で身に付けた技能を活用しながら資料を読みったりするコーナーや、見方・考え方を働かせる場面にアイコンを用いて認識しやすい工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)単元のまとまりを意識して深い学びにつなげることができるように、単元を貫く探究課題を設定し、1時間ごとの学習課題と単元を振り返る活動を設け、段階を踏んで探究課題を解決できる構成になっている。 (2)「世界の諸地域」や「日本の諸地域」などの導入のページでは、概観ページと抱負な写真資料を提示し、探究の視点を明示することで、生徒が主体的に課題を把握し追究しやすくなっている。 (3)単元のまとめのページでは、探究課題解決の流れや評価の観点を明示することで、意図をもって段階的に単元の学習を振り返ることができ、単元を貫く探究課題の解決につながっている。 (4)教科書本文で、丁寧で分かりやすく事象の背景や因果関係を、例示を交えて説明してあることで、社会的な事象を捉えて幅広い知識と教養が身に付けられるように工夫されている。
4 全体的な特色	(1)社会的な課題を自分たちで見つけ、その特徴や解決策を考えて伝えるという過程を重視しながら、現代社会を学習することができるようになっている。 (2)社会的事象の課題やその原因、解決に向けた活動などの地理の学びから世界を知り、探究することの楽しさや奥深さを感じることができるように工夫されている。
5 総合所見	・地理的な見方・考え方を働かせた「深い学び」を通して、社会的事象の課題やその原因、解決に向けた活動などの地理の学びから世界を知り、より良い持続可能な地域づくりに主体的に参画する態度や意識を養えるようになっている。 ・主題図を1ページに複数掲載していることが多く、生徒が主題図を重ねて捉えることを通して、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結びつきなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けることができる構成になっている。

採択基準	発行者名 教育出版（中学社会 地理 地域にまなぶ）
1 教科の目標からの配慮	・地理的分野の目標を達成するために、主権者としてともに生きる力を育むことや、社会を読み解き学び合うこと、市民的教養の基礎・基本が身につく内容を持続可能な社会を創造する市民の育成を目指している。 ・これから先の予測困難な未来を子どもが生き抜くために、社会的事象から課題を読み取り、その解決について主体的に考えられるような構成になっている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1)社会科の学習に不可欠な写真やイラスト、地図やグラフなどの資料が豊富に掲載され、出典と併せて視覚的に社会的事象を読み取り、その課題や解決策を捉えられるように工夫されている。 (2)学習から興味や関心を広げていくコラム「〇〇の窓」を掲載したり、地理的な技能が着実に定着するコーナー「地理の技」を設けたりすることで、多面的・多角的に考えたり資料活用の技能が向上したりする構成になっている。 (3)迫力のある写真資料を単元の導入のページで提示し、社会的事象に対する興味関心を高めたり、過去と現在を比較する資料を提示したりすることで、多面的・多角的に追究できる視点をもてるように工夫されている。 (4)すべての生徒に見やすいカラーユニバーサルデザインに基づく紙面づくりや、ユニバーサルデザインフォントを本文に採用し、誰にとっても判読しやすいように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1)内容のまとまりごとに単元の学習の見通しや振り返りの学習場面をいっそう充実させる構成になっており、主体的・対話的で深い学びを実現しやすく、また一連の学習を通じてより深い理解を促す工夫がされている。 (2)本文と資料のバランスを工夫して1時間の授業展開が学習の見通しが立てやすく、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を捉えやすい構成になっている。 (3)「身近な地域の学習」では、生徒自らが地域の特徴や課題を捉えることができるように、地域の伝統文化を大切にしている事例や進んでいる多文化共生の姿を取り上げ、身近な地域から社会を考えることができるようになっている。 (4)現代や過去の社会的事象について、生徒が資料を的確に活用しながら多面的・多角的に考察し、情報を批判的に読み解いて後世に判断する力を養うように紙面が工夫されている。
4 全体的な特色	(1)1年生から学習が始まる地理的分野では、小学校社会科から中学校社会へと移行しやすいように多くの振り返りを取り入れたり、また高等学校へ中学校で身につけておきたい地理的技能などの学習内容を身に付けたりしながら、小学校・中学校・高等学校の学びのつながりを意識した構成になっている。
5 総合所見	・学校・中学校・高等学校の学びのつながりを意識した構成で、社会的事象から課題を読み取りその解決について主体的に考え、市民的教養の基礎・基本が身につく内容を持続可能な社会を創造する市民の育成を目指している。

採択基準	発行者名 帝国書院（社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土）
1 教科の目標からの配慮	・「地理的な見方・考え方」を働かせながら、自然環境・文化。産業などを多面的にみることで、それぞれの地域の特色を理解し、持続可能な社会の形成に参画する主権者となり、予測困難な時代を生き抜く力を育むようになっている。 ・特徴的な社会的事象からの問いを軸にした単元構成の構造化によって、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」ができるような構成になっている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)「世界の諸地理」や「日本の諸地域」の単元などで大判の写真から地域の様子をつかめるようにするなど、社会的事象に興味・関心を高める写真と資料や理解しやすい本文により、意欲的に学びに向かうように工夫されている。 (2)誰にとっても読みやすいユニバーサルデザインフォントを採用したり、視覚特性に配慮した識別しやすい色使いを意識したりするなど、全ての生徒がつかいやすいユニバーサルデザインに基づいた編集がなされている。 (3)「小学校・歴史・公民・他教科の関連」や「小・歴・公の関連アイコン」を示すことで、既習事項を踏まえて、社会的事象を多面的・多角的に捉えることができるように工夫されている。 (4)本文ページを見開き1授業時数とする構造化された紙面構成によって、学習内容への理解を深めて知識の定着を図り、見通しをもって社会科の学習に取り組むことができるようになっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)各種写真・資料には「資料活用」や「対話」を促すアイコンを示し、資料を読み解く着眼点を示すことで資料の読み取りや活用する技能向上を促す工夫がなされている。 (2)単元の末尾に「学習を振り返ろう」を設定し、「地理的な見方・考え方」を働かせて思考力・判断力を養う活動を通じて、単元を貫く問いの解決に向けて、多面的・多角的に考察できるようになっている。 (3)地球的・地域的課題の解決に向けて構想する「アクティブ地理」を設けることで、各種資料をもとにした生徒同士の対話を通じて、現代社会が直面する課題の解決に向けて構想する活動場面を設け、社会参画に向けた態度と資質を育成することができるようになっている。 (4)比較を意識した資料やレイアウトによって、資料を関係性や違いを考察し、様々な視点で「地理的な見方・考え方」を働かせる工夫がされている。
4 全体的な特色	(1)地域の特色を理解することで、地域と地域との相互関係やグローバル化によって起こっている地域の変化についての理解が深められるようになっている。 (2)将来の持続可能な社会の実現にむけて、自然災害や社会の課題に対して考えることを通して、よりよい地域のあり方について考える力が身につくようになっている。
5 総合所見	・「地理的な見方・考え方」を働かせながらそれぞれの地域の特色を理解し、特徴的な社会的事象からの問いを軸にした単元構成の構造化によって、「主体的・対話的で深い学び」を通して、よりよい地域のあり方について考えることができる。

採択基準	発行者名 日本文教出版（中学社会 地理的分野）
1 教科の目標からの配慮	- 生徒たちが新しい時代を担う主権者へと育てるために、めまぐるしく変化する混とんとした現代社会を生き抜く力をつけ「公民としての資質・能力の基礎」を育成することを目指して編集されている。 - グローバル化、ローカル化という世界の大きな流れのなかで、国際社会や日本が抱える課題に立ち向かえる人材を育てることを目指して編集されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)生徒が興味・関心をもち、授業設計に役立つ様々なトピックを掲載することで、現代多岐な諸課題や伝統・文化に見られる多様な地理的事象に対する理解を深めることができるように工夫されている。 (2)教科書本文には、読み取りやすいユニバーサルデザインフォントを採用し、カラーユニバーサルデザインの観点からすべての生徒が等しく情報を読み取ることができるように配慮されている。 (3)各単元で基本色となる「単元カラー」を設定してデザインを統一することや、ページの右端にインデックスを設けて、現在学習している単元を参照しやすいように工夫されている。 (4)地理・歴史・公民の教科書で単元や紙面の構成を3分野で統一してあることや、小学校での既習事項や他分野の内容を多数掲載してあることで、相互に連携・関連させながら学習できるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1)「単元を貫く問い」などの問いを構造化することで内容のまとまりで学習しやすく、各時間の「学習課題」を積み重ねて「編・章・節の問い」を解決する構造を通して、主体的・対話的で深い学びを実現する構成になっている。 (2)教科書の冒頭で、「地理的な見方・考え方」を働かせることができる練習ページを設定し、生徒が親しみやすいイラストを通して「見方・考え方」を捉えやすくなるように工夫されている。 (3)どのようなことに着目して学習をすすめるのか「学習課題」や「見方・考え方」を示すとともに、「確認」や「表現」コーナーを提示することで、生徒が「編・章・節の問い」を考えやすいように工夫されている。 (4)まとめ・振り返りのページを設定し、習得した知識を確認した後に「編・章・節の問い」について答えを考える構成になっていて、自己の学びを振り返ることができるように工夫されている。
4 全体的な特色	(1)持続可能な社会に関する内容を教科書の各所に掲載し、教科書全体を通して持続可能な社会について考えることができるように工夫されている。 (2)目指している社会がどのようなものかを捉えた上で、様々な資料・写真に触れて持続可能な社会を実現する構想の活動を行うことで、持続可能な社会について自分事として捉えられるように工夫されている。
5 総合所見	・グローバル化、ローカル化という世界の大きな流れで主体的・対話的で深い学びを実現し、「公民としての資質・能力の基礎」を育成することを通して国際社会や日本が抱える課題に立ち向かえる人材を育てることができる。

採択基準	発行者名 東京書籍（新しい社会 歴史）
1 教科の目標からの配慮	・導入⇒転換⇒まとめといった単元のまとまりを重視した構成で、必要な知識や技能が身につくように構成されている。 ・「深めよう」のコーナーでは、チャートなど様々な図を使って社会の変化を捉え、歴史事象を多面的・多角的に考察できるようになっている。 ・各章に探究課題が設定され、生徒が主体的に解決しようとする態度を養う場をもつことができるよう配慮がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 各頁の本文に見出しがあり、重要人物や出来事、語句は太字で掲載されており、どの生徒にも親しみやすく学習が進められるように工夫がされている。 (2) 各頁に内容に合ったさし絵や写真が掲載され、生徒が興味をもって資料の分析ができるように配慮されている。 (3) 各章にある探究する問のコーナーでは、生徒や教師のキャラクターのコメントで、生徒が探究していく課題を解決するヒントが示され、生徒が主体的に学習できる内容になっている。 (4) 教科書内の随所に「見方・考え方マーク」が付され、生徒が見方や考え方を広げ深めながら課題解決学習に取り組めるように配慮されている。 (5) 生徒一人一人が見分けられる色の組み合わせが採用されており、フラットなデザインで、目の前の学習に集中できるレイアウトになっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) どの単元においても「導入⇒展開⇒まとめ」で構成されている。導入では章の探究課題が設定され、グループワークで協働的な学びができるようになっている。 (2) 各頁には学習課題が明示されている。またチェック&トライで学習の内容を確認、説明するコーナーを設け、学習内容の定着を図る工夫がされている。 (3) 二次元コードからアクセスできるコンテンツが多数あり、学びを深める資料や動画や学んだことを整理する思考ツールがあり、生徒が主体的に見方・考え方を広げ深められるように配慮されている。 (4) 実在する資料を掲載し、資料から考える学習が重視され、「時期や年代」「相互の関連と比較」「現在とのつながり」といった見方や考え方を身につけることができるよう配慮されている。 (5) 単元のまとめとしての活動では、問の構造図が示され、1時間毎の学習課題の解決が、単元を貫く学習問題の解決につながっていく工夫がされている。
4 全体的な特色	・生徒にとって学びやすい配慮がされており、他分野や他教科との関係性も感じながら、多面的・多角的に考える力を養うことができるように工夫がされている。
5 総合所見	・単元を構造化することで、課題解決的な学習をすすめることができ、生徒の実態に応じた学習の充実が図れるように工夫されている。

採択基準	発行者名 教育出版（中学社会 歴史 未来をひらく）
1 教科の目標からの配慮	・歴史的分野に必要な社会科の基礎的・基本的な事項が的確におさえられている。教材や学習内容の焦点化・重点化が図られ、社会の変化や今日の課題が反映された事象を取り上げられている。 ・生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げられている。生徒の興味・関心を喚起する写真資料や図版も多く、資料を読み取りながら、その章の学習内容を見通せる構成となっている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 写真・イラスト・地図・グラフなどの資料が豊富に掲載され、視覚的に捉えやすく配置されている。 (2) 見開き2ページを1時間の授業として、本文・資料・学習活動がバランスよく配置された紙面になっている。それらを生徒が自ら読み解くための手がかりが示されているコーナーが設けられている。 (3) その時間の学習内容を象徴するような言葉を使ったタイトルに工夫があり、自ら知りたいという意欲を喚起している。 (4) 時代スケールが各ページに設けられ、その時間に学習する時期を意識し、歴史の大きな流れと関連付けるために活用できる。 (5) 本文は比較的平易な表現となっており、地名・人名などの固有名詞や社会科特有の用語にはふりがなが付けられたり、側注に用語解説が掲載されたりして、読解への負担を軽減している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 本時ページの最後に、学習したことを整理しながらまとめる「確認」のコーナーが設けられ、学習事項の確実な定着が図られるように構成されている。 (2) 「確認」のコーナーを受けて、それを基に「表現」のコーナーも設けられ、学習事項の定着とともに活用が図られるように構成されている。 (3) 「歴史の技」コーナーでは、個人やグループでの活動を通じて、歴史の学習で身に付けたい技能や表現力を養えるように配慮されている。 (4) 「THINK」や「Q」のコーナーでは、地図・グラフ・絵・図解などの資料を自ら読み取って考察する学習ができるように工夫されている。 (5) その章の学習を見通す「導入」から始まり、それぞれの時間の「本時」、視点を変えて捉えなおす「特設ページ」、章の学習の「振り返り」で次章の学習につなげるまでの学習の流れによって、学びが連続していく工夫がある。
4 全体的な特色	・生徒自身が自ら見方・考え方はたらかせながら、見通しを持って社会的な事象を読み解き、考え、表現することができるような構成が工夫されている。 ・様々な視点から社会的な事象や課題にアプローチして、多面的・多角的に捉えることを重視した教材・内容の配置、選定がなされている。
5 総合所見	・本教科書編集の基本方針である、主体的に社会に関わる主権者として、持続可能な社会を創造する生徒の育成が期待できる構成となっている。

採択基準	発行者名 帝国書院（社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き）
1 教科の目標からの配慮	・地域史や社会史、人々に焦点を当てたコラムがあり、多面的・多角的な見方を養い、社会の多様性を認める態度を育成する工夫がなされている。 ・持続可能な社会の形成にいかせる事例を取り上げたテーマが配置されており、これからの社会について考えられるように工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) 図版に背景色や囲み線をつけるなど、ユニバーサルデザインに基づいた編集により、図版と本文を区別しやすくされており、色覚に配慮された識別しやすい色使いや読みやすい文字の工夫がされている。 (2) 構造化された紙面構成がされており、学習につながる導入の歴史的資料、見開きの全体の学習内容を見通す問いから学習を始めることができるように配置されている。 (3) 各時代の社会の様子をイラストで概観し、生徒の気づきを促す「タイムトラベル」が各時代の初めに設けられ、当時の社会への関心を高め、学習する時代の見通しを立てることができるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 1見開き1時間での授業を原則とし、「学習を振り返ろう」を含め総授業時数が130時間（標準時間135時間、「学習を振り返ろう」を除くと115時間）が配当されており、つながりよく配置されている。 (2) 歴史的事象が起きた理由や相互の関係を理解することができる本文に加え、重要事項を確認できる「確認しよう」や言語活動で学習内容を振り返ることができる「説明しよう」の活動が配置されている。 (3) 「歴史を探ろう」「多面的・多角的に考えてみよう」のコーナーでは、本文で学習した内容を具体的に深く考える場面を設定し、社会的な見方・考え方を働かせた学習ができるよう配慮されている。 (4) 単元の初めの「章扉」で単元の学習を見通したり、「学習を振り返ろう」を活用して節の問いや章の問いに取り組んだりすることで、習得した知識・技能やそれを活用した、思考・判断・表現を評価できるようになっており、主体的・対話的で深い学びと指導と評価の一体化を実現する工夫がなされている。
4 全体的な特色	・時代の特色や様々な視点の資料が掲載されており、生徒が多面的・多角的に歴史を捉えることができるよう工夫されている。 ・「タイムトラベル」や「世界とのつながりを考えようイラスト編」のコーナーにおいて、時代の特色を表す人々の営みが大観できるように配慮されている。
5 総合所見	・各項目で生徒の興味関心を引き出せるように、歴史上の出来事の因果関係が記述されている。また、自らの学習を見通したり、振り返ったりする学習がしやすい紙面構成となっており、主体的な学習がしやすい紙面構成となっている。

採択基準	発行者名 山川出版社（中学歴史 日本と世界）
1 教科の目標からの配慮	・歴史の大きな流れを時代の特色を踏まえて理解ができ、情報を調べまとめる技能が身につけられるよう配慮されている。 ・歴史について身近な地域の資料が掲載され、日本の伝統や文化的な特色について、詳しく記述がされている。 ・歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を目指して課題を主体的に解決しようとする態度を養うよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 図版が見やすくレイアウトされ、図版や資料には番号が付けられ、本文の関連がわかりやすく示されている。 (2) 歴史上の人物について、エピソードなどを盛り込んだ人物コラムが設置され、生徒が関心を高めて学習に向かえる工夫がされている。 (3) 各頁の本文では重要語句が太字で記載され、生徒がその語句に意識が向くように配慮されている。周囲にある資料のフォントは本文よりも小さく、本文が主になるように工夫されている。 (4) 各頁の資料のバックの配色が、落ち着いた色を使用しており、華美にならないように配慮されている。 (5) 掲載資料は原文に加えてわかりやすい口語体が同時に表記されているものが多く、生徒が容易に内容を理解できるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 各単元が、導入⇒本文⇒ステップアップによる振り返りという流れで統一され、知識と技能を身につけさせられる構造となっている。 (2) 章扉に写真と帯年表がつけられ、視覚的に流れをつかめるように工夫されている。そのため、テーマ史や特定の事象をクローズアップした頁で、多様な視点から考えさせられるよう工夫されている。 (3) 各単元の冒頭に単元理解のための発問があり、単元の内容が前提・結果・影響という筋道を辿っており、歴史的事象が今日にどのような影響を与えているのか考えさせる工夫がされている。 (4) 多くの発問付きの資料が掲載されており、生徒が興味関心を寄せることができる工夫がされている。 (5) 章のまとめの頁では、時代全体を俯瞰して考えるための問いかけが用意されており、その時代の特徴を自分の言葉で表現させる工夫がみられる。
4 全体的な特色	・資料が充実しており、高校で日本史や世界史を学習することを意識したつくりとなっている。豊富で多様な発問が多く設置され、生徒の興味に合わせて、多角的なアプローチで歴史を学ぶことができる工夫がされている。
5 総合所見	・高校への接続を強く意識した内容となっている。「歴史を学ぶ力を養う」ことをコンセプトにして、世界と日本といった広い視野で歴史を学ぶことができるよう配慮されている。

採択基準	発行者名 日本文教出版（中学社会 歴史的分野）
1 教科の目標からの配慮	・歴史的な見方や考え方をはたらかせながら学んでいけるように、最初の単元で歴史の学び方を扱い、歴史の大きな流れを捉え、多面的・多角的に考察し、基礎的・基本的な知識・技能の習得を目指している。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 本文ページでは、豊富な文字量ながらも平易な表現で、歴史の流れや因果関係が丁寧に記述されている。 (2) 学習内容が構造化・焦点化されており、詳細な学習に陥らず、妥当な分量での学習が進められるようになっている。 (3) 見開き2ページで1時間の授業の構成となっており、生徒の思考の流れに沿って、資料や本文が配置されている。 (4) 時代・世紀のスケールが添えてあり、今、学習している時代や世紀を常に確認できるように工夫されている。 (5) 図版に番号が付されており、本文と図版を関連させて読み取ることができるようになっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 見開き2ページの構成の中で、学習課題が明確に示され、ページの終わりの確認・表現コーナーでは、学んだ内容を活用し、文章化・言語化することで、知識・技能の確実な定着を図っている。 (2) 各時代の学習では、導入ページで単元を貫く問いを立てたり、学習を見通したりして、まとめと振り返りのページでは、問いに答える活動や時代の特色を捉える学習活動を設定している。一貫してこの構成で学ぶことで、時代の特色を踏まえ、歴史の大きな流れを理解できるように配慮されている。 (3) 「チャレンジ歴史」のページでは、様々な資料を読み取り、生徒自ら選択・判断して学習を進めていく教材が用意されており、主体的・対話的な学びが期待できる。 (4) トライ、スキルUP、資料活用コーナーなど、様々なコラムやコーナーで、生徒が自分の言葉で表現する機会が設けられている。
4 全体的な特色	・導入から振り返りまでの学習の流れを意識し、様々な資料に出会いながら、生徒自ら学び、考えていくことができる構成となっている。
5 総合所見	・各単元や時間の課題がわかりやすく、様々な写真・図版などの資料をもとに生徒が考え理解していくことが期待できる。

採択基準	発行者名 自由社（中学社会 新しい歴史教科書）
1 教科の目標からの配慮	・「我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚」を涵養することに役立つ歴史教科書を目指すとしている。 ・社会的事象の見方・考え方が提起され、「社会的事象を、時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事象同士を因果関係などで関連付けること」という観点が示されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) 教科書本文の文体を、親しみやすい「です・ます」体で書かれ、生徒の興味をかき立て、知的好奇心に訴えるものとなるように工夫がされている。 (2) 教科書の単元の周辺には、本文を補足し、発展させる多くの教材が配置されている。それらの教材には通し番号をつけて言及しやすくするとともに、多彩なカテゴリーが設けられている。 (3) 欄外には、年表が置かれ、その単元で学ぶことが、モノサシ年表でどこに位置するかを明確に意識できるように工夫がされている。 (4) 単元の末尾には「チャレンジ」という記事が置かれ、単元ごとに簡単な知識の整理が出来るように工夫がされている。 (5) 単元の概説的な記述では、歴史の深さを実感するには教科書の記述が不足していると考えられた場合、大型のコラム記事が配置されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 各章の章末には、次の 4 つの記事を配置するのを定型としており、学どの章でも同じようにまとめや評価を行うことができるように配置されている。 (2) 調べ学習のページでは、課題学習を行うことができ、生徒の探究活動を促すように工夫されている。 (3) 復習問題のページでは、問題が掲載されており、基礎的な用語・知識の定着をはかることができるように工夫されている。 (4) 時代の特徴を考えるページでは、時代比較の問題、人物比較の問題、「ひとこと」作文、意見交換会、などの多彩な学習課題が提起され、「歴史用語ミニ辞典」を生徒がつくるという課題を与え、かつその方法として 3 文でまとめる手続きが示されており、学んだことを自分で構造化するレッスンの場となるように工夫されている。 (5) 対話とまとめ図のページでは、兄弟・姉妹のキャラクターによる、時代の鳥瞰・大観のための対話篇が掲載されている。まとめ図では、時代の特徴を様々な手法を駆使して構造化して示されている。
4 全体的な特色	・資料やコラムが充実しており、深く歴史を学ぶことができるような紙面構成になっている。生徒がさらに深く調べたいことに合わせた学習を行うことができるように工夫されている。
5 総合所見	・歴史を現代まで通して捉える構成となっており、歴史の基礎知識を身につけるとともに、歴史に対するより高いレベルの知的関心にも答えうる構成となっている。

採択基準	発行者名 育鵬社（〔最新〕新しい日本の歴史）
1 教科の目標からの配慮	- 日本の歴史の大きな流れを理解することができる紙面構成で、歴史的分野における学習の基礎的・基本的な知識、概念や技能の習得ができるように配慮されている。 - さまざまな角度からとらえた多彩な資料が、生徒の歴史に対する見方・考え方を養うとともに、公正な判断、深い理解ができるように工夫されている。 - 日本の歴史の背景にある世界の歴史などの学習課題について、生徒の生活目線で考え、判断し、考えを深める教材構成がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) 学習指導要領の内容に沿っており、135 時間で無理なく履修できるように配慮されている。 (2) 見開きの冒頭に複数の資料が提示されており、生徒が学習をはじめるきっかけになるように構成されている。 (3) 本文はわかりやすい言葉で、さまざまな歴史的事象の意味や意義、事象間のつながりなどを丁寧に説明している。 (4) 写真や表・グラフ・図・コラムなどを豊富に掲載し、本文内容を補足して理解を助けることができるように配慮されている。 (5) 色覚特性に配慮したカラーユニバーサルデザインを採用している。グラフや地図などの資料については、色覚特性のある生徒でも識別しやすい色を使用している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 各章の冒頭に、その章で学習する時代に起こった出来事や活躍した人物、文化や生活などのイラストを年代順に掲載し、 (2) 1時間の授業や数時間（単元）の流れの中で、「課題をつかむ」→「課題について調べる」→「課題についてまとめる・表現する」という問題解決型の学習を進めるにあたり、学びのテーマ、学び方の方法や手段、まとめ方などを示し、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を促している。 (3) 見開き2頁の冒頭に導入資料と学習課題を示して、見通しをもって追究できるように配慮されている。 (4) 「時期や年代」「推移」「比較」「相互の関連」「現在とのつながり」といった歴史的な見方・考え方を働かせるコーナーを設けて、歴史学習における思考力・判断力・表現力を育むことができるように工夫されている。 (5) 単元末には、「学習のまとめ」のコーナーを置き、各時代を年表で整理したり、歴史上の出来事や生活、文化の様子などを、資料を通してまとめたりすることができるように配慮されている。
4 全体的な特色	・小学校で学習した内容をふり振り返りながら、時代の流れを俯瞰でき、歴史学習への興味・関心を高め、学習の見通しをもつことができるように構成されている。
5 総合所見	・生徒が小学校社会科や、中学校社会科の地理的分野での学習を活かしつつ、社会的事象を歴史的な見方・考え方を踏まえて多面的・多角的に考察したり、説明したりする力を養うための言語活動を重視している。また生徒が「生きる力」を養うために、「主体的・対話的で深い学び」を実現する教材を配置し、社会的事象を「自分事」としてとらえ、主体的に判断し、行動できるよう工夫している。

採択基準	発行者名 学び舎（ともに学ぶ人間の歴史）
1 教科の目標からの配慮	・多様で興味深い歴史の事実が本文や図版で表され、それらをもとに生徒が問いや疑問が持てるような編集がなされている。 ・人々の生きる姿を描き、具体的な歴史の場面を提示することで、伝統や文化、国際平和などの大切さに気付き、公共の精神に基づいて、主体的に社会に参画しようとする態度の育成につながるものである。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) ページの最初に特色ある図版が大きく鮮明に掲載され、多彩な地図やグラフ、側注などとともに、生徒が自ら疑問や課題を持ち、追究していける構成となっている。 (2) 文章表現や漢字の使用、ルビふりなど、使用学年に応じた配慮がなされ、読みやすい本文になるように工夫されている。 (3) 本文中の太字をなくし、生徒の主体的な学習の妨げにならないように配慮されている。 (4) カラーユニバーサルデザインに配慮し、地図やグラフを読み取りやすいものになるよう、色線やマークなどに工夫がある。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 指導的な人物や文化に関わる作品や作者の名前だけでなく、さまざまな階層や分野の人物を取り上げ、人々の営みを多様に捉えられるように配慮されている。 (2) 歴史の主体としての女性の働き、それぞれの時代における子どもの姿など、従来の教科書にはあまり見られなかった視点もある。 (3) 「第二次世界大戦の時代」「現代の日本と世界」の章に多くのページを割き、平和について考え、今日的な課題に目を向け、より良い社会の実現に向けて考えられる構成となっている。 (4) 章や部のまとめでは、絵画資料から人々の声を想像したり、さまざまな階層や立場の人々に対するインタビュー記事を作ったり、多様なテーマを比較・関連させて意見交換したりして、多様な表現活動を通した主体的・対話的な学びにつなげている。
4 全体的な特色	・指導的な人物ばかりでなく、女性や子ども、時代の中ではマイノリティに属する人々などの視点も取り込み、多様性が重視されている。
5 総合所見	・学ぶ生徒が、多様な視点を通して、各時代の世界や東アジアと日本との関わり、戦争や平和、現代世界の課題に多く触れることで、これからの社会に参画していことに重きを置いた内容となっている。

採択基準	発行者名 令和書籍（国史教科書 第7版）
1 教科の目標からの配慮	・光と影、その両面を学ぶことで我が国を愛し、そして他国を尊重することができる生徒が育つように配慮されている。 ・自分自身こそが我が国の連綿と続く歴史の継承者であることを自覚させ、現代と違うもの、変わらぬものを比較する力を養い、どの生活場面でも生かすことができるように配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	(1) それぞれの内容項目では「課題」が設定されており、一義的ではなく多角的に理解させ、答えを求めるのではなく問いを提起することを意識して編集されている。 (2) 少数説もフォローし、幅広い知識を習得するために多くの事実を、科学的根拠・データを用いてしっかりと説明されている。 (3) 縦書きを採用し、小見出しにも「いろは順」を用いるなど、ビジュアル面にもこだわり、読書する楽しみを提示しようと工夫されている。 (4) 巻末資料としてカラーで「日本美術図鑑」が掲載されており、生徒の興味を引くものとなっている。また、作品がみられる場所が地図で掲載される工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価）	(1) 従来の歴史区分を用いつつも、我が国の歴史の特色に従って、歴史の転換点を独自に設定されている。 (2) 天皇を軸として語られ、歴史の連続性をより実感できるように工夫されている。 (3) 基本的内容の列挙にとどまらず、より高いレベルの知的探求を手助けし、歴史の真理を追い求める姿勢を育成するように、情報量と問いを意識して構成されている。 (4) 巻末資料にはそれぞれの時代の地図や歴史的事象を位置関係が掲載されており、教科書の内容だけであると理解が十分ではない内容への配慮がなされている。
4 全体的な特色	・伝統と文化の特色を広い視野に立って臨場感豊かに著し、ワクワクドキキの連続でまるで映画を見ているかのように、生徒が授業なしでも理解できるようにわかりやすく編集されている。
5 総合所見	・天皇を軸として語られる歴史であり、内容がとても充実している。また、何を考えるか明確であり、生徒の学びを継続して行っていく配慮がなされている。

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 新しい社会 公民）
1 教科の目標からの配慮	・課題を把握して課題解決に向けた学習計画の見通しを立てたうえで課題を追究し、現代社会の様子や仕組みについての理解を深められるよう配慮されている。 ・身近な事象から見える課題から地球規模の課題まで、適切な切り口で現代社会の課題を見つけ、多面的多角的に考察ができるように配慮されている。 ・課題解決のための資料やトピックを適宜例示するとともに、その読み取りや調査分析の手法などを示すことで、主体的に問題解決的な学習を行えるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 各章の冒頭に身近な事象に関わるワークショップやグループ活動が示され、単元を貫く探究課題を設定し、単元の学習の見通しをもてるよう工夫されている。 (2) 各章の「導入の活動」と「まとめの活動」には、共通の題材を使うことで学習に流れをもたせるよう工夫されている。 (3) 各章の最後に、節ごとに節の問いをまとめて学習を振り返り、自分の言葉で探究課題の解決に取り組めるよう工夫されている。 (4) グラフや地図はカラーユニバーサルデザインに全面的に対応しており、色覚特性への配慮がなされている。 (5) 本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し、効果的に学習できるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 公民学習の基盤である「人権・憲法」を先に学習し、「経済」については政治や政策との関連から学習を深められるよう工夫されている。 (2) 各章の学習を、学習に興味・関心をもたせる「導入部」、学習を進める「展開部」、学習をまとめる「終結部」の形で構造化し、学習の流れをとらえられるよう工夫されている。 (3) 見開き1単位時間の紙面を、問題解決的な学習の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるよう配慮されている。 (4) 1単位時間の学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け、思考力・判断力・表現力が育成されるよう配慮されている。 (5) 各章の冒頭で「見方・考え方」を明示してとらえられるようにするとともに、学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け、学習を深められるよう配慮されている。 (6) 章のまとめでは、さまざまな思考ツールを活用して章を貫く探究課題の解決を図ったり、現代社会の課題をとらえたりできるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・単元のまとまりを重視した紙面構成となっているため、導入・展開・まとめといった問題解決的な学習を計画的におこない、単元を貫く探究課題を解決できるようになっている。
5 総合所見	・単元を貫く探究課題の解決に向けて見通しをもって主体的に学習できる構成となっており、問題解決的な学習によって現代社会の諸課題をとらえることができるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 教育出版（中学社会 公民 とともに生きる）
1 教科の目標からの配慮	・各章のはじめに「学習の見通し」というコーナーを設けて、学習する内容に関連した日常生活についての問いや、どのように章の学習が進んでいくのか、学習する際の視点を示している。 ・単元の導入で身近な社会的事象から単元を貫く課題を設定し、単元の終末で3観点別のまとめと事象への準備が図れる構成となっている。 ・1時間の授業の中で思考・判断・表現する学習活動が位置づけられ、その支援のための解説や演習活動が適宜示されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 毎時間ごとの見開きの最初に、中学生のキャラクターが本時のキーワードとなる問いを投げかけ、関心を高める配慮がされている。 (2) 「公民の技」「公民の窓」が随所に配置され、生徒の技能や表現力を高めたり、見方・考え方を広げ、深めたりする工夫が見られる。 (3) 各章の最後に、各節の学習内容を振り返られるまとめが見られたり、単元を貫く課題について思考ツールを用いて自分の考えを整理し表現できるように設定されていたりなど、学習の深まりを実感できる配慮が見られる。 (4) 「TRY!」のコーナーでは、資料やイラストの読み取りやディベートの実施など、多様な表現活動に取り組みながら表現力を高め、考察を深めるための工夫がされている。 (5) 表・グラフ・図・写真などの資料が毎時間の学習に偏りなく示され、生徒の資料活用技能に広がりをもたせる工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 政治の仕組みについて学習した後で、政治と関連付けながら、私たちの暮らしと経済について指導できる単元構成になっている。 (2) 各単元に「学習の見通し」が示されているので、単元展開の構想を立てやすい。また、単元の最後には「次章の学習に向けて」が設けられ、単元と単元のつながりを生徒にわかりやすく提示することができる。 (3) 表現力を高めるための「TRY!」のコーナーが設けられ、ディベートやシミュレーションなど様々な形態での学習方法が示されているので、発展的な学習場面として活用しやすくなっている。 (4) 本時の学習課題が毎時間毎表記され、「確認」「表現」のコーナーで知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力育成のための学習活動が示され、授業準備がしやすい。 (5) 表・グラフ・図・写真などの資料をバランスよく配置し、資料を読み取らせながら考えさせる授業を構想しやすい配慮がされている。 (6) 単元のまとめでは、単元を通した視点に対する見方・考え方を振り返る問いが設定され、生徒の深い学びを確認しやすくなっている。
4 全体的な特色	・「問い」を軸にした単元の導入から単元のまとめまでの流れを大切にしている構成になっているので、「問い」や単元を通した視点に対する自分の見方・考え方の深化をより実感できる授業が行える。
5 総合所見	・各単元の問いや視点に対して、自分の見方・考え方がどのように深化したのかを振り返るための学習活動とそのための支援ツールが必ず設定され、生徒が深い学びを実現・実感できるよう配慮されている。

採択基準	発行者名 帝国書院（社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して）
1 教科の目標からの配慮	・各章の導入で社会の仕組みがよく分かるイラストを設け、単元の学習内容が暮らしとどのように関連するのを見通せるよう配慮がされている。 ・資料活用の技能を身につけ、見方・考え方を交流し合える課題が本時で設定され、思考・判断・表現の力を育成しやすく配慮されている。 ・社会参画への意識を高めるために、「アクティブ公民」コーナーが適宜設定され、現代社会が抱える課題解決に主体的に取り組もうとする生徒の育成に配慮している。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 見開きの上段部分には、核となる資料がワイド写真、場面構成を工夫したイラスト等で掲載され、生徒の関心を高める配慮が見られる。 (2) 「アクティブ公民」の特設コーナーを各単元に設け、既習内容を踏まえて社会に見られる課題をさらに深く追究できる工夫が見られる。 (3) 各章の最後に、各節の学習内容を振り返られるまとめが見られたり、単元を貫く問いについて思考ツールを用いて自分の考えを整理し表現できるように設定されていたりなど、学習の深まりを実感できる配慮が見られる。 (4) 「18歳への準備」では将来直面する問題とそれに対するシミュレーション活動が設定され、自分ごととして技能や思考力・判断力・表現力を高めるための工夫がされている。 (5) 表・グラフ・図・写真などの資料が毎時間の学習に偏りなく示され、生徒の資料活用の技能に広がりをもたせる工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 政治の仕組みについて学習した後で、政治と関連付けながら、私たちの暮らしと経済について指導できる単元構成になっている。 (2) 各部の最初にある「学習の前に」では、誌面いっぱいのイラストで社会の仕組みを表現している。そのイラストの読み取らせ方を工夫することで、単元全体を見通した導入場面を構想しやすくなっている。 (3) 「アクティブ公民」などの特設コーナーを活用して教材化することで、生徒が習得した知識・技能を活用して、より深く社会的事象に対する思考力・判断力を高めていける授業を提供しやすく工夫されている。 (4) 本時の学習課題が毎時間毎表記され、課題把握や課題解決のための資料も具体的な学習活動と一緒に掲載されているので、教科書そのものを教材として活用した授業づくりができるように配慮されている。 (5) 表・グラフ・図・写真などの資料を精選し、核となる資料を大きく掲載することで、追究のポイントが明確になっている。 (6) 各単元のまとめでは、単元の学習を振り返り、問いの答えを導き出すという形態でまとめられており、評価がしやすい。
4 全体的な特色	・各単元で具体的な学習活動が提示された構成となっているため、様々な技能を身につけながら、より深く課題を追究する授業づくりができる。
5 総合所見	・各単元で現代社会における課題と課題追究のための具体的な方法がわかりやすく示され、生徒の深い学びを様々な形で実現できる。

採択基準	発行者名 日本文教出版（中学社会 公民的分野）
1 教科の目標からの配慮	・課題を把握して課題解決に向けた学習計画の見通しを立てたうえで課題を追究し、現代社会の様子や仕組みについての理解を深められるよう配慮されている。 ・人権・環境・平和といった普遍的な価値を基礎として、現代社会の諸課題に対して公正や個人の尊重といった見方・考え方をを用いて判断できるよう配慮されている。 ・身近な社会的事象やSDGsに関する事例を随所に取り上げ、社会参画を促すよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 現代的な諸課題や最新のトピックス、抽象的な事象を具体化するイラスト教材などを取扱い、基礎的・基本的な知識が定着するよう工夫している。 (2) 各章の終末には、節ごとに節の問いをまとめて学習を振り返り、自分の言葉で探究課題の解決に取り組めるよう工夫されている。 (3) 「連携コーナー」では、地理的分野や歴史的分野の学習とのつながりを意識した問いが示され、習得した知識を活用できるよう配慮されている。 (4) 地域事例の数については、地方による偏りがなく日本各地の事例を取り上げるよう配慮されている。 (5) 地図、グラフ等の図版類は、カラーバリアフリーに配慮した配色としたり、色以外の情報でも識別できるよう形や模様、線の工夫をしたりしている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 各編章は導入ページ「学習のはじめに」で単元を貫く問いを立てたり学習を見通したりできるように、また終末では単元を貫く問いに答える構成にして、生徒が学習に見通しをもったり学習を振り返ったりできるよう工夫している。 (2) 見開き2ページに1授業内容がまとまり、「学習課題」を解決する「見方・考え方」を働かせて追究し、終末では「確認・表現」をもとに考察できるよう配慮されている。 (3) 見開き1単位時間の紙面を、問題解決的な学習の流れで構造化し、学習内容を確実に定着できるよう配慮されている。 (4) 1単位時間の学習内容をまとめる「確認・表現」を設け、思考力・判断力・表現力が育まれるよう配慮されている。 (5) 1授業内容のまとめとなる「確認・表現」や「章の学習を振り返ろう」では、それぞれ評価の観点に沿った内容となるよう配慮されている。 (6) 章のまとめでは、思考ツールを用いて単元を貫く問いの解決を図ったり、持続可能な社会との関わりをとらえたりできるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・章や節、1時間の問いを解決する見通しをもたせながら、資質・能力を育成することができるよう工夫されている。
5 総合所見	・現代的な諸課題に関わる教材を豊富に掲載し、生徒が問題解決的な学習によって問題解決したり、考察構想したりすることができるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 自由社（新しい公民教科書）
1 教科の目標からの配慮	・社会にみられる課題の解決に向けて構想する力を育成するよう、大事な部分を重ねて学習できるよう配慮されている。 ・社会的事象に対して、多面的・多角的に考察し、考察したことをまとめ議論し、表現力を高めるよう配慮されている。 ・よりよい社会の実現に向けて、生徒が主体的に考えることができるように配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 見開き 2 ページに 1 時間の授業内容がまとまり、追究する課題を示す工夫がされている。 (2) 関連する単元に「もっと知りたい」という資料があり、新たな視点に出会い、学ぶ意欲が高まるよう工夫されている。 (3) 各章の終末にある「学習のまとめ」では、生徒が自ら基礎・基本を確かめたり自分の言葉でまとめたりすることができるよう工夫されている。 (4) 各章の中にある「アクティブに深めよう」では、生徒が単元で学習してきたことを活用して思考・判断・表現することができるように工夫されている。 (5) 見開き 2 ページの中に「ここがポイント」を設け、各単元の内容について端的にまとめられるように工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 現代社会の諸課題から、個人と家族、国家、国際社会へとかわりを広げながら、基礎・基本を大事に学ぶ配慮がされている。 (2) 各章の冒頭に、この章で解決する問題が明記されており、見通しをもって学習することができるよう配慮されている。 (3) 「ミニ知識」というコーナーがさまざまな視点から多数用意されており、生徒が社会的事象を多面的に捉えることができるよう工夫されている。 (4) 各単元に学習問題が示され、用意された資料をもとにしながら、生徒が自ら解決できるよう工夫されている。 (5) 資料「もっと知りたい」では、重要な事柄を深く理解し、生徒が社会的事象について自分とのかかわりの中で考えることができるよう工夫されている。 (6) 「学習のまとめと発展」では、基礎的な用語の習得が図られたり、学習内容を発展させた課題について記述したりするといった工夫が見られる。
4 全体的な特色	・章や節のまとまりを設けながらも、そこに配列された単元の課題を解決する学習をすすめ、各章の終末で自分と社会との関わりを認識しながら発展的な課題に取り組むことができるように配慮されている。
5 総合所見	・社会的事象を主体的にとらえられる構成となっていたり、学習のまとめを長文で説明する活動があったりと、生徒の公民的資質を高める配慮がなされている。

採択基準	発行者名 育鵬社（新しいみんなの公民）
1 教科の目標からの配慮	- 各章の扉で歴史的分野・地理的分野で学んだことを紹介し、小中の系統性や3分野の関連性を高めて学習に取り組めることができるよう配慮されている。 - 他人事を自分事として捉える教材を大事にし、主体的・対話的で深い学びを実現するための言語活動が設けられている。 - 現代社会の理想と現実が分かる教材を大事にし、現実主義の記述を基に、生徒が真理を求める態度を養えるような構成となっている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 生徒が1時間の授業で見開き2ページの学習内容を段階的に学ぶことができるように、バランスよく教材を配置している。 (2) 各章に「入り口」「これから」というページがあり、各章で学ぶ内容が実生活とどうつながるか、考えられるように工夫されている。 (3) 「やってみよう」で考えたり話し合ったりする活動を通して、主体的に考え、判断し、表現することができるように工夫されている。 (4) 「学習を深めよう」でさらに学習の視点を広げることで、基礎的な知識や技能、表現が伸びるように配慮されている。 (5) 図版資料に通し番号があるので、教科書の本文に書かれた文との関連が見やすく分かりやすいように配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 身近な題材から学ぶことができる単元の配置がされ、生徒が興味・関心をもって学習が進められるよう配慮されている。 (2) 各章のはじめに「入り口」というコーナーがあり、この章で何をどのように学んでいくか、見通しがもてるように配慮されている。 (3) 「やってみよう」のコーナーを活かし、話し合いや将来予測などをし、多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。 (4) 課題をつかむ「吹き出し」や資料を読み取る視点を明確にし、主体的に課題に向き合うように工夫されている。 (5) 持続可能な開発目標の17のゴールを一覧できる資料を掲載し、章ごとの学習における関連性を示すなどの工夫が見られる。 (6) 章末の「学習のまとめ」では、基礎的な知識の定着を確認したり、言語活動を通して学びが深まったりするよう工夫されている。
4 全体的な特色	現代社会の課題と自分が自分事として向き合うことができる内容があり、公民的資質の形成ができるよう配慮されている。
5 総合所見	生徒にとって身近な課題を様々な視点から考察できる資料を使いながら、問題解決型の学習ができる。また、授業終末では、ポイントを絞ったまとめがあり、生徒の学びを支える配慮がされている。

採択基準	発行者名 東京書籍（新しい社会 地図）
1 教科の目標からの配慮	・地図だけでなく写真やグラフなどの資料を豊富に掲載し、知識を身に付けたり資料を活用する技能を高める活動ができるように工夫されている。 ・教科書の内容を補完する資料を掲載し、教科書に代わる役割も果たせるようになっている。 ・SDGsをはじめ現代社会の課題について詳しく掲載し、国際社会に主体的に生きる資質・能力の基礎を育成できるように配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 紙面を大判化し、スケールアップをすることで、生徒が地図に親しめるように配慮されている。 (2) 地域ごとにテーマ資料を豊富に掲載し、課題追究の場面では教科書での学習内容をもとに学びを広げられるよう工夫されている。 (3) 地図だけでなく、写真やグラフも大きく掲載し、配色やコントラストが鮮明で、生徒にとって見やすいよう工夫されている。 (4) 地図や統計資料が最新であるだけでなく、SDGs や現代的な諸課題に関わる資料を掲載し、最新の情報を理解しやすいよう工夫されている。 (5) 「ミツバチーズ」というキャラクターを登用し、各頁で地図帳を活用するヒントを出し、生徒の学習活動への意欲を高めている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 基本的に、一般図⇒基本資料⇒テーマ資料の配列で構成しており、生徒が調べやすいよう工夫されている。また豊富なテーマ別資料は、各学年の単元展開に効果的に活用できるよう配慮されている。 (2) テーマ資料は、関連する資料を並べて掲載したり、参照頁を示したりして、社会的事象と関連的に考察できるように配慮されている。 (3) 海洋汚染や森林の増減率、平均気温の変化、日本の主な公害といった世界と日本の環境問題の特設し、地図と合わせて学習を進めることができるように工夫されている。 (4) 世界の住居の材料や食文化、宗教について、世界地図を使用してそれぞれの分布を表し、地理分野の学習に興味関心をもつことができるように配慮されている。
4 全体的な特色	・地図とともに豊富な資料を掲載し、学習が深められる。また、地理や歴史、公民に関する資料を掲載し、3分野を関連付けて学習ができるように配慮されている。
5 総合所見	・教科書とのリンクが考えられており、地理、歴史、公民の3分野を豊富な資料で関連付けて学べるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 帝国書院（中学校社会科地図）
1 教科の目標からの配慮	・多様な資料、情報を掲載し、世界や日本の各地域への興味・関心をもちながら、幅広い知識や教養を身につけられる構成となっている。 ・世界全体の課題やSDGsに関わる特集や主題図などを掲載し、国際社会に主体的に生きる資質・能力の基礎を育成できるよう工夫されている。 ・鳥瞰図や写真、デジタルコンテンツ等により、各地域を大観したり地域的特色をとらえたりできるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 空間認識をともなった幅広い知識や教養が身につくように、自然、産業、歴史などさまざまな情報を地図上に掲載するよう工夫されている。 (2) 多彩な絵記号を配したり、主題図や鳥瞰図を多数設けたりすることで、地域の様子や地域における人々の暮らしや努力、工夫などを読み取りやすくなるよう工夫されている。 (3) A4版の利点を生かし、地域の結びつきをより重視した図取りとなるよう配慮されている。 (4) 地図帳の使い方を、段階を追って丁寧に解説することにより、地理的技能の基本を身につけられるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) どの地域も、地図の次に資料がくるように構成し、関連する地図や資料を同じ縮尺で表し、比較を通して分布の特徴や事象間の因果関係を関連付けながら考察できるよう工夫されている。 (2) 地理的分野の学習に合わせて、資料は地域的特色が適切に理解できる題材を選定するよう工夫されている。 (3) 巻末の統計資料や巻頭と巻末の資料図では、日本や世界が抱える諸課題について掲載し、最新の社会的事象や課題について考えられるよう配慮されている。 (4) 要所に配された問い「地図で発見！」は、社会的な見方・考え方に着目して作成されており、思考力・判断力・表現力の育成につながるよう配慮されている。
4 全体的な特色	・すべての生徒にわかりやすいように、UDフォント、カラーレイアウトなどが工夫されている。 ・地図等の豊富な資料が掲載されている。また、地理的分野のみならず、歴史的分野や公民的分野、社会科学学習以外にも幅広く活用できるよう工夫されている。
5 総合所見	・A4版の大きさとユニバーサルデザインで見やすく、情報を読み取りやすい。また、統計資料もわかりやすく、社会科3分野の学習やそれ以外での学習にも対応しており、地図帳を使って多様な学習ができるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 東京書籍(新編 新しい数学 ～MATH CONNECT 数学のつながり～)
1 教科の目標からの配慮	・繰り返し学習ができる豊富な問題数があり、個人差にも対応できるきめ細やかな問題構成で、知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 ・数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して考察する力や数学的に表現する力が高まりやすいよう工夫されている。 ・問題解決の過程を振り返って評価・改善する態度や数学的な見方・考え方を働かせる態度が養えるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) つまずきへの手立てや問題の補充が行えるようにしたり、章末問題を段階的に設けたりするなど、個の理解度に応じて学習できるよう配慮されている。 (2) 「章のとびら」や「節の導入」「活用」の場面では、日常生活と結びついた題材を多く取り上げ、章全体で問題発見と解決のサイクルで学習を進めることで、興味・関心を高めながら学べるよう工夫されている。 (3) 問題発見・解決の過程を重視した数学的活動に取り組むことで、問題発見・解決能力を高めることができるよう工夫されている。 (4) 基礎的・基本的な内容の理解をより確かなものにし、問題解決で働かせた数学的な見方・考え方を他の問題や実社会、他教科の学習に活かせるよう配慮されている。 (5) 色覚特性に適応するデザインや文字の大きさ・行間などのレイアウトの工夫によって紙面にゆとりをもたせ、読みやすくわかりやすいよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 多くの章で「単元を貫く題材」を用いることで、学びが連続し、生徒が主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 (2) 既習事項を関連付けたり、小中を含む学習内容の系統化をしたりすることで、問題解決で働かせた見方・考え方や表現力が高まるよう配慮されている。 (3) イラストの生徒の会話や、キャラクターの吹き出しによって、数学的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的な活動を促すよう工夫されている。 (4) 学習内容の系統性を重視し、学習のつながりを良くすることで、指導を円滑に進めることができるよう配慮されている。 (5) シミュレーションや動画などのデジタルコンテンツを提示したり、つまずく生徒にヒントとなる言葉を示したりして、学習内容の理解を促し、図形を動的に捉えるなど効果的な学習指導が行えるよう配慮されている。 (6) 「大切にしたい数学の学び方」では、振り返りの視点が示されていることに加え、チェックボックスの形状が観点別に種類分けされていることによって、評価を明確にできるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・日常生活や社会で数学を活用する題材、他教科の学習で数学を活用する題材を多く取り上げたり、他の単元とのつながりを重視したりすることで、数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるよう工夫されている。 ・生徒自ら学習内容の理解が十分であるか確認できる工夫がされており、段階に応じた問題構成によって個への指導ができるよう配慮されている。
5 総合所見	QR コンテンツを活用し、図形を動的に捉えることができるなど、学習者の学習意欲を高めさせ、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。そのために必要な知識や技能が習得できるように構成され、協同的に学習することで深い学びに繋げられるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 大日本図書（数学の世界）
1 教科の目標からの配慮	・基礎的・基本的な知識及び技能が身に付けられるように、既習事項と関連させ、繰り返し学習ができるよう配慮されている。 ・数学的な活動を通して、思考力、判断力、表現力等が身に付けられるように、疑問について調べたり自分の考えを説明したりする学習ができるよう工夫されている。 ・数学を学ぶことのよさ、多様な数学的な見方・考え方を実感し、よりよく物事を解決していく態度を養えるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 章の導入場面では、日常生活、社会や他教科と関連させた問題が多く、数学と身の回りの事象と繋がりを感じながら学習できるよう配慮されている。 (2) 数や図形の性質を説明する活動では、複数の考え方や表し方を読み取り、それらを比較検討して、数学的な思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮されている。 (3) 「考えよう」、「めあて」という流れで見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮がなされ、数学的な表現を使った生徒同士の話し合いの様子をもとにした「Q」、「判断しよう」、「伝えよう」等で、数学的な判断力、表現力が高まるよう工夫されている。 (4) 補充問題では「プラス・ワン」などを利用し、個々の理解に応じた問題に取り組むことで、知識及び技能の習得が図られるよう配慮されている。 (5) 初出時の用語・記号は太字、UD フォント、学習の流れが捉えやすい紙面構成、効果的な写真や実際の資料で、興味・関心が高まるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 数学的な見方・考え方を働かせながら、知識及び技能を身に付けることができるような学習の進め方への配慮がされている。 (2) 数学的な表現を用いて説明し合う活動等を通して、身に付けた知識及び技能を活用できる構成となるよう工夫されている。 (3) 「活動」の中で、数学的な見方・考え方を促す多様な考えをキャラクターが示しており、事象を論理的、統合的・発展的に考察する力が養われるよう配慮されている。 (4) 「たしかめよう」では基礎的・基本的な定着問題、「プラス・ワン」「学びにプラス」「力をのぼそう」などではより発展的な問題を扱い、個に応じた指導ができるとともに学習者自ら主体的に取り組めるよう配慮されている。 (5) 各学習の「活動」には、キャラクターの考え方が挿絵で載っており、生徒が追究の見通しをもち、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 (6) 各章の「ふり返ろう」では、学習内容の理解の確認や学習したことのよさに気づくことを促す質問があり、学びの振り返りや数学的な表現を用いたコミュニケーション力を伸ばせるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・問題解決型の学習の流れとなっており、様々な数学的な見方・考え方を働かせながら言語活動ができるよう工夫されている。 ・数学を学ぶことの意義や有用性が紹介され、日常生活や社会と関連させて興味・関心を高められるよう配慮されている。
5 総合所見	数学を活用して活躍している方の紹介等、キャリア形成の側面からの学習意欲や向上心を沸き立たせるように考慮されている。また、基礎的・基本的な知識及び技能の定着を促し、意欲的に学習に取り組めるよう配慮されている。

発行者名 採択基準	学校図書（中学校数学）
1 教科の目標からの配慮	・Qの問題（発見した疑問を数学の問題に置き換え、数学化した問題）を生徒どうしの対話を通して解決の見通しを立てる中で、どのような数学的な見方・考え方をしていくのかの例を示し、意識して使えるようにしている。 ・「算数・数学の学習過程のイメージ」（中教審答申）を実現できるように、学習の過程のそれぞれの段階を意識できるようにするなど、章の構成を工夫している。 ・基礎的・基本的な知識及び技能が確実に習得できるように、既習事項を示したり、類似問題を数多く用意したりしている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 学習内容が身に付くための問題数を確保し、習熟の状況に応じて弾力的に取り扱うことのできる練習問題がある。 (2) 生徒にとって身近な題材、興味のもてる題材を多く取り上げるとともに、学習内容に関連するコラムなどの特設ページがある。 (3) 男女生徒のキャラクターがやり取りをする中で疑問や見通しを示し、追究の意欲をもたせたり理解の手助けになるようにしたりしている。 (4) ノートの使い方を各学年の巻頭で取り上げ、ノートの作り方が定着するよう工夫されている。 (5) 色覚特性に配慮し、誰でも区別しやすい色遣い及びゆとりのあるレイアウトやUDフォント、文節での改行等、ユニバーサルデザインの観点から編集している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 全学年、「数と式」→「関数」→「図形」→「データの活用」の領域順に章を配列している。 (2) 図、式、説明図、吹き出しなど、生徒の発達段階に即し、理解の手助けとなるような配置の工夫をしている。 (3) 易しい問題から難易度の高い問題へと段階的なステップを踏んで学習を進められるように配列し、知識及び技能が確実に習得できるよう配慮されている。 (4) 「説明する力をつけよう」の頁では、他者に分かりやすく説明するには、どのようなことが必要なのかを考える場面が設定されている。 (5) 他者とのつながりを意識しながら、協働的に学習する態度を養えるように、他者の考えや意見を多様な考え方として示したり、対話の場を提示したりしながら他者の考えに触れる機会を設けている。 (6) 二次元バーコードを掲載し、自分で操作して学んだり、表やグラフを作成したりできるなどの10種類の学習に役立つデジタルコンテンツをインターネット上で活用できるようになっている。
4 全体的な特色	・「算数・数学の学習過程のイメージ」を大切にし、主体的に解決する力が身に付くよう工夫されている。 ・日常の事象を、数理を用いて解決する意欲を引き出したり、見いだした数理の関係を説明するよう促したりするなど、生きる力を養えるよう工夫されている。
5 総合所見	日常の事象から数理を見いだし、既習事項を用いながら段階的に考察できるように構成することで、数学的に考える資質・能力が育成されるよう工夫されている。また、個別最適な学び（指導の個別化と学習の個性化）と協働的な学びの一体的な充実につながる構成となるよう配慮されている。

採択基準 発行者名	教育出版（中学数学）
1 教科の目標からの配慮	・章の導入の「Let's try」等で作業、実験、調査などの活動に取り組んだり新しい法則や性質の予想を見いだしたりする場面を設定し、生徒が主体的に問いをもって追究していけるよう工夫されている。 ・働かせた数学的な見方・考え方を振り返ったり、働かせたい数学的な見方・考え方に気付いたりすることができるよう工夫されている。 ・数学の有用性や社会とのつながりを感じながら、意欲を高めて問題解決の過程をたどりながら学習を進められるようにしている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 学習内容は、易しい問題から難易度の高い問題へとステップを踏んで、生徒の意欲や思考の過程を大切にするよう配慮されている。 (2) 場面（教材）は、具体から抽象、特殊から一般へのように段階を踏んでおり、漸次、学習内容を高めていけるようにしている。 (3) 男女生徒のキャラクターが疑問や見通しを示し、追究の意欲をもたせたり理解の手助けになるようにしたりしている。 (4) 巻頭や章末で、間違えたところは消さずに残す、間違えた理由を追記するなどノートづくりのポイントを示している。 (5) 落ち着いた配色、認識しやすい色の濃淡、文節のまとまりでの改行、UDフォントの利用等、ユニバーサルデザインの観点から編集している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 全学年、「数と式」→「関数」→「図形」→「データの活用」の領域順に章を配列している。 (2) 単元に関連する既習内容を「○章を学習する前に」や「もどって確認」で自ら確認したり学び直したりできるようにすることで、基礎的・基本的な内容を確実に定着できるよう配慮されている。 (3) 各種の学力調査でつまづきやすい内容について、誤答例を示し、どこが間違っているのかを考え、説明し合う場面を設けている。 (4) 主体的・対話的で深い学びが実現できるように、特に問いをもつ、その問いを仲間と共に考える視点を大事にして構成されている。 (5) 評価の観点に応じて、章の目標が達成できているかを評価できる問題や生徒の記述例を記載することで、実際の生徒の反応と照らし合わせ、評価できるようになっている。 (6) 汎用的な統計ツールSGRAPAに二次元コードから直接アクセスでき、教科書に記載されているデータをそのまま使用できるようになっている。
4 全体的な特色	・各章の始めに既習内容の確認、章末に学習のまとめや振り返りがあり、基礎的・基本的な知識及び技能が習得できるよう配慮されている。 ・日常生活の場面から数学の事象を見だし、課題解決することで、数学的に考えるよさや数学の実用性を実感できるよう配慮されている。
5 総合所見	既習とのつながりを大事にして、身の回りの事象や数学の事象を解決していくなかで、意欲的に数学的に考える資質・能力が育成されるよう配慮されている。また、練習問題や振り返りなどの配置を工夫し、生徒が自己評価しやすくなっている。

採択基準	発行者名 新興出版社啓林館（未来へひろがる数学）
1 教科の目標からの配慮	・概念や原理・法則を具体的な例を通して考えたり既習事項と関連付けたりして理解し、知識及び技能を確実に習得できるよう配慮されている。 ・学んだ数量や図形の性質を、数学的な見方・考え方の観点からとらえ直し、論理的、統合的・発展的に考えられるよう工夫されている。 ・数学を積極的に活用しようとする態度や、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を養えるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 具体から抽象、基礎的なものから発展的なものへとつなげられ、スモールステップで展開したり例をていねいに示したりすることで、多様な考え方や数学的な処理の仕方を学べるよう配慮されている。 (2) 「ステップ方式」の課題により、自分で問題を発見したり、解決の過程を振り返って深めたりすることができるよう工夫されている。 (3) 「学習のとびら」で単元の見通しと数学の有用性に気づき、見出した問題を、既習事項を活用して考え、表現する活動を取り入れる工夫がされている。 (4) 章末の「学びをたしかめよう」「学びを身につけよう」で理解を確認し、巻末の「学びをふりかえろう」「力をつけよう」で反復学習ができるよう配慮されている。 (5) ユニバーサルデザインフォントの使用、意味や文節による改行など、様々な生徒が内容をとらえやすくなるように配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 「本編」と「数学広場」の2部構成とし、多様な学びに対応できるよう配慮されている。 (2) 関連する既習事項や、前後のつながりを重視し、生徒の思考を意識して系統的に学習を進められるよう工夫されている。 (3) 身近な場面で導入し、主体的・対話的に追究できるようにしている。また、問題をひろげたり深めたりする視点を「②」で示し、統合的・発展的に考えることができるよう工夫されている。 (4) 巻末の「数学広場」の「力をつけよう」には補充問題や入試問題、「学びを生かそう」には身のまわりで活用する課題が掲載されており、個に応じた指導に生かせるよう工夫されている。 (5) 用語・記号は明確・簡潔に表すのに有効なものを厳選し、学習場面と関連した写真や、説明を補うための多数のQRコンテンツなど、学習の理解を助けられるよう配慮されている。 (6) 章末問題の「学習したこと」や「チェック欄」での自己評価や、章末の「章のあしあと」での自己の学習の振り返りなどができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・身のまわりや数学の場面から問題を発見し、解決し、解決の過程をふり返って改善を図ったり新たな問題を設定したりできるよう構成されており、数学を学ぶ有用感や活用する楽しさを感じながら学びを広げられるよう工夫されている。 ・「問題発見」と「問題解決」の数学的な見方・考え方を「大切な考え方」として明示し、数学的に考える資質・能力が育つよう工夫されている。
5 総合所見	数学を現実世界と結びつけ、身近に感じられる場面での学習を通して、主体的に学習する態度を養いながら、理解を深め、思考力、表現力、判断力等を育むための工夫が随所に施されている。また、ICTの活用や視覚的な工夫にも優れ、生徒一人一人の状況に応じた学びができるよう配慮されている。

採択基準	発行者名 数研出版（改訂版 これからの数学）
1 教科の目標からの配慮	・既習事項の振り返りを基に、数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則についての理解を深めることができるよう配慮されている。 ・登場人物の対話を多く用いて、数学的な見方・考え方を働かせる場面を設定し、数学的活動を通して思考力、判断力、表現力等が養えるよう工夫されている。 ・身近な題材や他教科と関連する題材を通して、興味・関心を喚起し、主体的に学びに向かう態度が養えるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 基礎基本について十分な量が確保されているとともに、多様な方法で取り組むことができる課題が織り交ぜられ、生徒が多様な考え方を生み出せるよう配慮がされている。 (2) 身近な題材で興味・関心を喚起し、登場人物の対話で多様な考え方や誤った考え方を提示したり、学習内容から派生する問いや課題を提示したりすることで、問題解決のプロセスに焦点があたるよう工夫されている。 (3) 「学んだことを活用しよう」で、身近な問題を数学的に解決する機会を設けたり、SDG sに関連した題材を取り上げたりすることで、目的意識をもって学習できるよう工夫されている。 (4) 章の初めや途中の「ふりかえり」で、学習内容に関連する既習事項の振り返りや知識及び技能の確認ができるよう配慮されている。 (5) 見やすく読みやすいUDフォントの使用やカラーユニバーサルデザインを考慮した配色により、多様な生徒にとって視覚的に分かりやすくなるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を習得し、系統的に学習できる題材の配列となるよう配慮されている。 (2) 「ふりかえり」では、単元の学習に関連する既習事項を確認でき、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くよう配慮されている。 (3) 登場人物が対話を通して学習内容の理解を深めていく姿を提示することで、数学的な見方・考え方を働かせ、論理的、統合的・発展的に考えられるよう工夫されている。 (4) 章末や巻末の練習問題で、章の内容を確認する問題と発展的な問題を配置し、個の力や個々の関心に応じて内容を補充・発展させられるよう配慮されている。 (5) 動きのある教材を分かりやすく見せるコンテンツや内容を補足する資料が用意され、生徒の理解へとつながるよう工夫されている。 (6) 「ノートづくり方」では、まとめ方や学びの振り返り方を指導でき、「学びの自己評価」では、理解度や活動について生徒が自己評価できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	・「ふりかえり」により関連する単元を示し、系統的に知識及び技能が身に付くよう配慮されている。 ・身近な題材について学習したことを活用する場面があり、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう工夫されている。
5 総合所見	身近な題材を扱うことで学習意欲が喚起され、既習事項の振り返りを基にして知識及び技能を習得できるよう工夫されている。また、教科書全体が、問題解決型の学習を前提として構成されていて、思考力、判断力、表現力等が身に付くよう配慮されている。

採択基準	発行者名 日本文教出版（中学数学）
1 教科の目標からの配慮	・本時のめあて、例、問の意図を明確にすることで、学習者が学びやすくし、知識及び技能が確実に身につくよう工夫されている。 ・＜大切な見方・考え方＞を18種類に整理し、それぞれの学習場面で具体化し、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう配慮されている。 ・巻頭に主体的に学習に取り組む態度を4つの具体例とともに明示しており、学習の中でそれらの態度を生徒が意識化できるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 生徒一人ひとりの学習状況や興味・関心・キャリア形成の方向性などに応じて取り組むことができるような、種々のタイプの問題の充実がなされている。 (2) 身近なことから始まる学習活動や社会と数学をつなぐコラムや問題を示すことで、数学のよさや有用性を実感し、数学を学ぶ意欲を高めるよう工夫されている。 (3) 1時間の流れがわかりやすい紙面となっており、初出用語を強調するデザインや理解を助ける図表やQRコンテンツが豊富に用意されている。 (4) 単元前に関連する既習内容を振り返る場面が設けられたり、節末、章末、巻末で繰り返し学習ができるようにしたりするなど、学び直しができるよう配慮されている。 (5) カラーユニバーサルデザインを使用するとともに、UDフォントを採用することで、多くの生徒に正しく情報を伝えられるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 「次の章を学ぶ前に」というページを次の章の直前に配置しており、次の章を学ぶために必要な知識及び技能を復習し、つまづきを未然に防ぐよう配慮されている。また、発展的な問題も多数配置されている。 (2) 学習内容をまとまりのある単元に構成し、相互の関連や生徒の発達の段階を勘案した合理的な配列となっている。 (3) 個に応じて、基礎的・基本的な内容を確実なものにしたり、応用的・発展的な問題に取り組んだりしていけるよう配慮されている。 (4) 問題解決の過程で互いの考えを話し合ったり、事柄や事実、方法、理由を数学的な表現を用いて説明したりする言語活動の充実を図る配列となっている。 (5) 「教科書QRコンテンツ」では、動的環境下で理解を助ける工夫や思考力・判断力・表現力等を育成することができるよう配慮されている。 (6) 「振り返りシート」「対話シート」では、振り返りの視点を与えたり、協働的な学びになるように促したりする設問があり、まとめや評価の観点が明確になるよう配慮されている。
4 全体的な特色	・学びに向かう力の涵養を大切にし、数学学習における「主体的に学習に取り組む態度」を具体化している。また、それらの態度を働かせて問題解決していく活動を適切に設けるよう配慮されている。 ・ICTを活用した学びのサポートを重視し、アニメーションや動画、シミュレーション、統計ツール等を活用し、個別最適な学びを実現する理解を助けるコンテンツが豊富である。
5 総合所見	本時のめあてや設問の意図が明確になるように構成し、生徒が学びやすいよう配慮されている。また、基礎・基本、復習、活用、さらなる学力向上等をねらいとした多彩な問題を掲載するなど、「個別最適な学び」を実現できるよう配慮されている。

採択基準	発行者名 東京書籍（新しい科学）
1 教科の目標からの配慮	- 単元の最初と最後に「Before & After」を設定し、学ぶ意義を考え、自己の成長を振り返れる工夫がなされている。 - 生徒が主体的に探究できるように観察・実験を段階的に配列し、思考力、判断力、表現力が高まるように工夫がなされている。 - 計算問題等つまずきやすいところでは、「例題」「練習」を配列し、「考え方」で詳細な解説を示すことにより、知識・技能の定着を図っている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)既習事項や他教科と関連する内容を「これまでに学んだこと」として示し、より深い理解につながるよう工夫されている。また、QRコードにより、関連するWebページを簡単に閲覧できるよう工夫がなされている。 (2)身近な問題を“レッツスタート”として問題意識を醸成し、その問題を課題意識にまで高めてから追究できるように工夫されている。科学的な探究の過程を主体的に取り組める工夫が見られる。 (3)きれいで見やすく、さらにインパクトのある写真が多く使用されていて、興味関心を惹きつけることはもちろんのこと、視覚的にわかりやすく、理解が深まることが期待できる。 (4)理解を助けるためのイラストや、観察・実験のポイントを示すイラスト、注意喚起を呼び掛けるイラストが適切に配列されており、生徒自ら主体的に学び理解するのを助けるとともに、観察・実験でのミスや事故を防ぐ工夫がされている。 (5)グラフ等の図版は色で区別するだけでなく、線種で区別したり、意味を言葉で示したりすることで、全ての生徒が見やすくなる配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1)教材の入手時期や、既習事項との連続性や発展性を考慮して単元を配列し、授業で扱う事項が広がりをもつよう工夫がなされている。 (2)問題発見や構想、分析解釈などの場面で、働かせたい「理科の見方・考え方」が示され、科学的に追究できるように工夫されている。 (3)問題発見から結論のまとめまで、探究的な学習ができるように構成されており、授業者にとっては、授業構想がたてやすい。 (4)観察・実験のポイントをわかりやすく示すことで、観察・実験が安全に行われるように配慮されている。また、結果や考察をあえて詳しく掲載しないことにより、授業でしっかり学習することが求められる工夫がなされている。 (5)探究の過程を経て、結論が出た後で、「学びを活かして考えよう」や「学んだことをチェックしよう」を設けることにより、学習内容が実社会とどのようにつながっているのか考えることができるようになっている。 (6)題材の最後には、必ず課題に対する自分の考えをまとめるよう示されており、それぞれの生徒が、どのような学びをしたのか、あるいは科学的思考がどの程度深まったのか評価できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	- レイアウトや配色、使われている写真等で生徒が興味関心を持って探究しやすい内容になっているのと同時に、身近な題材を取り上げ、既習概念とのずれを生じさせることで、主体的に探究する力が育まれるよう工夫されている。 3年間を通じて計画的に、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成することができるよう、探究の過程がだんだん深まるように扱う配慮がなされている。
5 総合所見	生徒が主体的に探究しながら学べる内容となっており、学ぶ中で科学的な思考力・判断力・表現力を身につけられるよう工夫されている。さらに、探究しながら、必要な知識や技能も身につけられるように様々な工夫がされている。授業をする上で、扱いやすい配慮も工夫されている。

採択基準	発行者名 大日本図書(理科の世界)
1 教科の目標からの配慮	・学習の導入では、身近なことから問題を見つけ、課題を見いだせる構成にして、自然の事物・現象と関連付けながら主体的に探究を進められるようにしている。 ・各単元では、学習指導要領で示された領域ごとの特徴的な見方を意識した課題設定をしており、探究の過程の中で思考力・判断力・表現力が身につくよう配慮がなされている。 ・巻末に探究の進め方を示しており、生徒が探究を進めながら思考力を高めたり、知識の定着ができたりするように配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)実験・観察の手順が写真と図を使って明示されており、生徒が活動の見通しを持ちやすく、操作も参考にしやすい。また、色使いやコントラストも見やすいように配慮がなされている。 (2)文章による説明の量が多く、詳しく説明がなされている。 (3)単元の導入時に前学年までの既習内容を振り返りが記載され、学習の連続性を意識した構成となっている。 (4)設問の場面では予想の手助けとなるキャラクターの対話例が示され、予想の見通しを持ちやすいよう工夫がなされている。 (5)各単元末には探究活動を位置付けてあり、問題発見から振り返りまでを学んだことを活かした学習が主体的にできるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1)単元の配列が観察・実験に適した時期になるように工夫されている。また、他学年と観察・実験の器具が重ならないように配慮がなされている。 (2)基礎的な知識を学習する場面では「問題を見つけよう」で学習問題を設定するための視点を例示し、生徒が主体的に学びに向かうことができるよう工夫がなされている。 (3)「これまでに学習したこと」を「これから学習すること」と関連付けて掲載しており、学習の見通しがもてるようになっている。 (4)単元末には「探究活動」「単元末問題」「読解力問題」を配置し、学んだことを活用して考え、思考力・判断力・表現力が育まれるよう工夫されている。 (5)つまづきが予想される問題には例題と解き方を解説し、章ごとに「読解力問題」と「章末問題」を配置し、知識・技能の定着や思考力・表現力の高まりが確認できるように配慮がなされている。 (6)実験・観察の結果やそこからわかることが明確に記述されており、生徒が1人でも教科書を使用して基礎的な知識が育むことができるよう配慮がなされている。
4 全体的な特色	・身の回りの自然事象への興味関心が持てるような写真や図が多数掲載されており、理科への親しみをもちやすいよう工夫されている。 ・説明が細かく、教科書を読むことで学習内容の知識が深まるよう作られている。
5 総合所見	・問題解決の手続きがわかりやすく、科学的な探究の楽しさを抱かせることを重視するとともに、自然事象への興味関心を高め、学習したことを身近な生活に繋げて考えさせる場面を多くして学びに向かう力を育てることに配慮がなされている。 ・各学年で重視する探究の過程を明示することで、生徒が見通しを持って主体的に探究を進め、段階的に資質・能力を育成できるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 学校図書（中学校科学）
1 教科の目標からの配慮	・事物・現象について細かく記述され、また、写真や図、表が多く掲載され、知識及び技能が身につくよう工夫がなされている。 ・科学的に探究する方法が、授業時間ごと筋道を立てられており、思考力、判断力、表現力等が身に付くように配慮がなされている。 ・巻頭に科学的な探究が実生活でどのように役立つか解説されており、科学的に探究しようとする態度の育成ができるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1)各単元の冒頭に「ふり返ろう・つなげよう」を掲載し既習事項との関連性や系統性を生徒に意識付けられるように配慮がなされている。 (2)「気づき」「課題」「仮説」「計画」「方法」「結果」「考察」の流れが示されており、科学的な思考が育まれる配慮がなされている。 (3)探究の仮説設定や計画立案の場面には対話の様子が絵で示されており、科学的探究の過程で、多様な個性を持った人たちとの話し合いが行えるように配慮がなされている。 (4)実験・観察の手順等解説する欄は全て実物写真を用いており、実際の器具・操作等比較しやすくなるように配慮がなされている。 (5)単元冒頭で使用される写真は生徒が目にしたことがあろう基本的なものが掲載されており、学習活動への誘意性は弱い。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1)単元の配列が、観察、実験に適した時期になっており、各学年で必要な器具が重ならないよう配慮がなされている。 (2)どのように考えることが適切か、どのようにその考えが日常に役立っているのかななどをコラムで、科学的な考え方の理解を深める配慮がなされている。 (3)コラムやキャラクターによる話し合いで、対話の重要性や科学的探究における主体的・対話的な学習の流れが示されており、主体的で対話的な学びができるよう配慮がなされている。 (4)知識習得のための記述には紙面の多くを割いていて、コラム欄も充実している。QRコードを読み込むことによりネット上の様々な教材と繋がり興味関心を高める配慮がなされている。 (5)指導上大切なことには「ポイント」と明示されており、重点項目を意識して指導できる工夫がなされている。 (6)各単元の冒頭に「Can-Do List」を掲載し、育成すべき資質・能力が示され、生徒自身が目標を意識した学習ができるよう配慮がなされている。
4 全体的な特色	・実物で示せるものは写真、実物で示すことのできないものはモデル図を使い生徒のイメージしやすい構成の工夫がなされている。 ・コラムやキャラクターによる話し合いで、対話の重要性や科学的探究における主体的・対話的な学習の流れが示されており、主体的で対話的な学びができるよう配慮がなされている。
5 総合所見	・コラムやキャラクターによる対話を随所に配置し、理科ではたらかせる見方・考え方を重視し、根拠と見通しを持って課題解決学習を進めることを通して科学的探究力を育む配慮がなされている。

採択基準	発行者名 教育出版（自然の探求 中学理科）
1 教科の目標からの配慮	・身近な自然事象に対する疑問から学習が展開されることを重視するなど、生徒の思考の流れに沿った構成に配慮がなされている。 ・重要語句の整理や基本、活用問題などといった5段階のステップを通して、知識及び技能の定着が図れるよう工夫がなされている。 ・巻頭で示した「探究の進め方」に基づく具体的な探究の流れを示すことで、探究する力が育まれるよう構成されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 各章の冒頭に「これまでの学習」と「学習前の私」が、また、末尾には「要点チェック」と「学習後の私」のコラムがあることにより、既習事項の確認と、学習の一貫性や連続性が図られるよう工夫がなされている。 (2) 実験では1ページまたは2ページを割いて「目的・準備・方法・結果・考察」までの流れが作られており、結果を直接教科書に書き込めたり、注意点が黄色の三角で強調されていたりすることで実験活動に集中しやすい。また結果は次ページをめくらないと見えないように配慮がなされている。 (3) 「ハローサイエンス」「やってみよう」「参考」「チャレンジ」などのコラム欄を通して、生徒の興味関心を高めるとともに、身近な生活に結びつけながら理科を学ぶことの意義や有用性に気付かせて主体的に学ぶ意欲がもてるように工夫がなされている。 (4) 1学年の教科書の文字は、2・3学年の文字に比べて大きく作られている。また、色の配慮や大判の紙面によるワイドな図や表、イラストにより、全ての生徒にとって見やすくなるように工夫がなされている。 (5) 各章に「話し合おう」やキャラクターによる話し合いが数多く例示されており、対話的な学びが進むように配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 全学年の教科書巻頭に「探究の進め方」として7段階のステップが示されており、それに基づいた構成となっている。生徒が探究的に学習を進めやすいよう工夫がなされている。 (2) QRコードを読み込むことで、「要点のチェック」や「器具の使い方」、「webずかん」「グラフシート」などの様々な教材につながり、生徒の興味を高めたり、理解を深められたりするような工夫がなされている。 (3) 大判を使うことで、全ての写真や図が大きく掲載され、鮮明で見やすくなっており、資料性も高まっている。 (4) 「注意」や「禁止」マークの使用や、物質や試薬の説明文の掲載により、安全面や環境面に配慮がなされている。 (5) 章の冒頭と終末に「学習前の私」「学習後の私」が設けられており、生徒が学習の前後で科学的な概念の変容を認識できるよう工夫がなされている。 (6) 課題の設定や考察などの各場面に「考えよう」が設定されており、生徒1人ひとりが自身の考えをもつことの重要性について触れる中で、生徒が主体的に学習に取り組めるよう配慮がなされている。
4 全体的な特色	・大きな写真やイラストで自然の事物・現象が示されていることで、生徒が主体的に問題を見つけ、課題を設定していけるような工夫がなされている。 ・学習がスモールステップに分けられ、見通しをもった無理のない構成がなされ、発展的な学習も進められるよう工夫がなされている。
5 総合所見	・疑問から課題が設定され、見通しをもって観察・実験が行われるように工夫がなされている。また、多くの資料から身近な生活に結びつけながら、主体的に学習に取り組めるよう配慮がなされている。

採択基準	発行者名 新興出版社啓林館（未来へ広がるサイエンス）
1 教科の目標からの配慮	・各章末では、その章で学習した基礎的・基本的な問題が掲載されており、知識および技能が定着するよう工夫がなされている。 ・生徒の思考の流れを考慮した課題の「把握」→「追究」→「解決」という学習展開で構成されていたり、自分の考えを書いたりする場面が設定されており、思考力や表現力が育まれるよう配慮されている。 ・単元末の、科学に関する読み物・資料の掲載により、理科への興味や有用性を感じられるよう工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 小単元の冒頭で、生徒が感じる身近な自然現象に対する素朴な疑問や生徒の興味関心を高めるための魅力的な写真資料等を配置することを通して、主体的な学習につながるよう工夫されている。 (2) 特に探究的に学習を展開することが適切な場面では、「探Q実験」と設定され、「探Qシート」を設け、キャラクターの対話例を用いながら探求の流れが示され、主体的に探究活動に取り組めるよう工夫されている。 (3) 図や写真がページの上部、本文はページの下部にレイアウトされており、生徒にとって読みやすくなるよう工夫されている。また、ワイドな紙面を用いることで多くの写真や図を大きく掲載しても見やすくなるよう工夫されている。 (4) 掲載されているQRコードを読み取ると、その場面の学習に関する豊富なコンテンツや動画を視聴することができ、視覚支援や生徒の自主学習の手助けになるよう工夫されている。 (5) 章の導入や単元の中に「つながる学び」が配置されており、小学校や下位学年の既習内容を踏まえた上で、新たな学習に取り組めるよう工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 生徒の思考の流れに沿った学習問題が設定されており、生徒の疑問や関心、考え方等を重視した単元展開になるよう工夫されている。 (2) 生徒が書き込める表やグラフ、図などにより、思考力、表現力を高め、生徒がつまづきやすい内容の理解を深められるよう配慮されている。 (3) 「Action」やコラム欄など、学んだことを活用して身近な生活上の自然事象につなげて考えを深める項目が豊富に掲載されており、理科を学ぶ意義や有用性を実感するよう配慮されている。 (4) QRコードが豊富に掲載され、学習内容に関する動画やWebサイトのリンク、練習問題や発表スライドなど生徒が学びを始める、広げる、振り返る、理解を深める、実験・観察に役立てるための工夫がなされている。 (5) 他教科や理科の単元間の学習内容とのつながりを示すマークが明示されており、単元間での連続性や教科横断的な学びができるよう配慮されている。 (6) 「Review ふり返ろう」は3観点の評価に対応した問いになっており、観点別学習状況の評価に活用できるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	・探究を促すために細分化された「探Q〇〇」が「実験、シート、ラボ、たね、クラブ」など多く用意されており、科学的に探究するために必要な資質・能力が育成されるよう工夫がなされている。 ・資料性の高い大きな写真や図、QRコードが豊富に掲載され、生徒の興味関心を引くとともにICT機器を活用できる場面や方法を提示しており、1人1台端末を活用した学びができるよう配慮されている。
5 総合所見	・生徒の疑問や思考の流れを重視した学習展開がなされるように構成されており、生徒が主体的に課題解決する学びの過程を通して、科学的探究力が育成されるよう工夫されている。また、資料性の高い大きな写真や図を効果的に用いたり、豊富なコラムを掲載したりすることで、興味関心を引き、理科を学ぶことの有用性を実感するよう工夫がなされている。

採択基準	発行者名 教育出版（中学音楽 音楽のおくりもの）
1 教科の目標からの配慮	(1) 音楽科の学習をバランスよく支えて見通せる学習マップがあり学習の見通しが持てる。 (2) 各教材のページに「学習目標」が示されており、それをもとに学習が広がるように配慮されている。 (3) 音楽的な見方・考え方を働かせた学習の入り口として、音楽家の言葉があり興味関心がわくように配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 題材ごとに、音楽を形作っている要素を示してあり、既習事項や他の教材とのつながりを確認することができ、学年の発達段階に応じた題材配列になるよう配慮している。 (2) 教材に合わせた美しい写真、まなびリンク、ワンポイントアドヴァイス、Let's Try! などがあり、生徒一人一人に寄り添った授業ができるよう工夫されている。 (3) 見開きをうまく使い、見通しをもって学習に取り組めるように工夫されている。また、比べてみようがあり、学習の広がりを支えている。 (4) 鑑賞教材は、興味をひくような明るい構成でまなびリンク（QR コード）を読み取ると、実際に見たり聞いたりして学習を進めることができる。聴き比べやワークシートへの記入などから音楽の良さを味わうことができるように工夫されている。 (5) 音楽年表、ポピュラー音楽図鑑、音楽の3要素など、資料が多く、学習への意欲を高め、理解を深めるための工夫をしている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 学習内容に添って系統的な学びを意識した題材配列になっている。学習の見通しがもて、学びが深まるように考えられていると思われる。 (2) 「歌のアルバム」は多彩な合唱教材があり、楽しく歌って楽しめるように工夫されている。 (3) 見る 聞く 記録する など、QR コードを読み取り教科書と合わせて活用できるようになっている。どんな生徒でも学びに向かいやすいと思われる。 (4) 音楽を愛好する心情を育み、豊かな情操を養う教材を選定し、表現しやすかったり学びが深まったりできる工夫がされている。大切な音楽記号が突起されていたり、見開きで学習の流れがわかるようになっている。 (5) 歌唱教材に関する写真や口絵が大きく取り上げられ、歌詞の情景が思い浮かびやすく、表現のためのイメージを持てるように工夫されている。 (6) 各教材の、学びのねらいと活動などが示され、評価の観点が明確になるよう配慮している。
4 全体的な特色	(1) 教材で何を学ぶか、教師も生徒も見通しを持って学習を進めていくことができる。「比べてみよう」のような比較するページが多く設けられているため、対話的・協働的な広がりのある学習が期待できる。 (2) QR コード「まなびリンク」は、範唱・範奏を聴いたりパートごとに歌ったりでき、生徒が自主的に活用できるよう工夫している。 (3) 色彩が落ち着いている。生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインにも配慮している。
5 総合所見	・楽曲を比較しやすいような配慮があり「Active!」では、生徒が主体的に学び音楽への理解を深められるよう工夫がなされている。 ・教材比較によって、わかりやすく学びが示されている。音楽の授業をもとに、音楽を楽しむ心情を育てることができる教科書である。

採択基準	発行者名 教育芸術社（中学生の音楽）
1 教科の目標からの配慮	(1) 学習指導要領に示された三つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材を示してあり、系統立てて配列されている。 (2) 各教材ページに学習目標が示されており、主となる音楽を形づくっている要素が示されている。ワークシートや資料が充実している。 (3) 巻頭言には、音楽について様々な角度から取り上げられており、身近な生活や文化ともかかわらせながら、興味関心がわくように配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 各学年の学習内容をまとめてあるので、生徒が1年間の学びの見通しが持てるようになっている。また、明確に示されている学習ポイントと多様な教材から、自ら主体的に学ぼうとする意欲を引き出すよう工夫されている。 (2) 作者からのメッセージやキャラクターのコメントなど全曲に記載されておりイメージを持ちやすい。 (3) 創作教材では、丁寧に手順が書かれており、生徒が創造的な学習を友と関わって対話的・協働的にできるよう配慮している。 (4) 鑑賞では幅広いジャンルや地域の楽曲を取り上げており、複数の曲から生徒が興味・関心に応じて鑑賞できるようになっているなど個別最適な学びができるように配慮してある。 (5) 生徒の興味関心に沿った新しい感覚の表紙である。楽譜やイラストなど鮮明で見やすい。また、キャラクターのコメントが学びの深まりとなるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 生徒の発達段階に応じた幅広い視野で精選された内容であり、年間を見通した系統的な題材配列であり、やさしい楽曲で学んだ後、発展的な内容を扱い主体的対・話的に学べるよう工夫されている。 (2) キャラクターの吹き出しは、生徒の言語活動や協働的な学びの手助けとなるよう考えられている。生徒が学習を見通したり振り返ったりできるなど学びが深まるよう工夫されている。 (3) 日本の伝統音楽や郷土の音楽文化についての学習が充実していて、地域の伝統を意欲的に学べるよう工夫している。 (4) 歌唱にかかわる写真や資料が多く情景や心情を思い浮かべながら演奏を工夫できるよう配慮している。 (5) 「生活や社会の中の音楽」では学年に応じたテーマがあり、音楽を通して社会と繋がったり国際理解や道徳的な心情を養ったりするための助けとなっている。 (6) 生徒が自ら学習を見通したり振り返ったりできるよう「学びのコンパス」のように、ワークシートを工夫している。
4 全体的な特色	(1) 何を学ぶか、どのような力をつけるのかが明確に示されており、生徒が見通しを持って学習ができるように工夫されている。 (2) 音楽を通して社会と繋がっていけるようなページ、伝統音楽のページが充実しているので、発展的な学習が展開できる。 (3) 必要なページに QR コードが掲載されていて、生徒が主体的にその題材で学習に必要な情報をすぐ得られる工夫をしている。 (4) 色彩が落ち着いていて、レイアウトがすっきりして見やすい。生徒が学習しやすいユニバーサルデザインにも配慮している。
5 総合所見	・その教材でどのような力が付くのが示されており、見通しを持って学習することができるよう工夫がなされている。 ・音楽の楽しさを味わいながら、生活や社会における音楽の役割や郷土の伝統音楽などにも触れられるページが充実しており、音楽に主体的に関わっていく態度を育てることができる教科書である。

採択基準 発行者名	教育出版（音楽のおくりもの）
1 教科の目標からの配慮	・各教材の目標と音楽を形作っている要素が示され、演奏のポイントを押さえながら楽器の基本的な奏法を習得できるように配慮されている。 ・様々な和楽器が取り上げられており、技能の習得だけでなく、音楽文化へのかんしんがたかまるように工夫されている。 ・写真や絵で演奏方法が記載されているほか、楽器の特徴が理解しやすいよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) それぞれの楽器ごとに基礎的な奏法や姿勢などから始まって、発達段階に応じて学習できるように曲の配列が工夫されている。 (2) 様々な難易度の練習曲を掲載していて、生徒の技能に応じた曲を選ぶことができ、段階的に学習できるように配慮している。 (3) 「音のスケッチ」では、即興演奏やお囃子などに挑戦でき「何が同じで何が違う？」では、比較して楽器の特徴をつかめるなど、主体的な活動への配慮がなされている。 (4) 様々な楽器のアンサンブルを楽しむために、曲や楽器を自由に選べるよう工夫されている。 (5) 奏法や各部の名称、ギターのコードや鍵盤の絵など大きくわかりやすくなっている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 徐々に難易度が上がるように教材を配列している。基礎から発展的な学習までできるよう配慮している。 (2) 鑑賞の分野や創作の分野と関連させるなど、他分野との関連を図れるよう配慮している。 (3) 楽器の特徴についての紹介や幅広いジャンルの曲に触れることができるよう多様な音楽を体験できる工夫がされている。 (4) リコーダーではアルトリコーダーだけでなく、ソプラノリコーダーでも演奏でき、弾力的に取り組めるよう配慮している。 (5) 楽器の演奏の仕方が写真で掲載してあり、生徒が主体的に学べるよう工夫されている。 (6) それぞれの楽譜の見出しに目標が示され、評価の観点が明確になるよう配慮されている。
4 全体的な特色	・図や写真などで奏法や運指を示していて視覚的にわかりやすい。鑑賞や創作との学習に関連した題材や資料が多く掲載されている。主体的、対話的・協働的な学習をしやすいよう工夫している。 ・QRコード「まなびリンク」が掲載されていて生徒が主体的に活用できるよう工夫されている。 ・色彩が落ち着いていて、見やすい。生徒が学習しやすいようにユニバーサルデザインにも配慮している。
5 総合所見	・扱われている楽器の種類が多いことは、個別最適な学びへの可能性が感じられ、扱い方を工夫することにより、器楽への苦手意識を少しでも和らげ、主体的に楽器にかかわろうとする態度を促すような工夫がされている。 ・簡単なものから自分に合った演奏ができるよう配慮されている。

採択基準	発行者名 教育芸術社（中学生の器楽）
1 教科の目標からの配慮	・各楽器の基礎的な奏法を丁寧に示し、練習曲やアンサンブル曲の学習をとおして技能や段階的に身につくよう十分配慮している。 ・技能の習得に偏ることなく、関連する楽曲の鑑賞や楽器を使った創作活動など、器楽を窓口にして幅広く音楽の楽しさに触れる工夫をしている。 ・楽器の奏者や奏法、世界の民族音楽の写真の掲載など、楽器演奏の興味関心を高め、音楽的心情を高められるよう工夫している。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 小学校の学びをいかしてそれぞれの楽器ごと基礎的な奏法を扱っており、中学生の発達段階に応じた曲の配列になるよう工夫している。 (2) 様々な難易度の練習曲を掲載しているため、生徒の演奏技能に応じた曲を選択することができ、段階的に学習できるよう配慮している。 (3) 「深めよう！音楽」「Q&A」「演奏のポイント」などで、表現の工夫や技能の向上を主体的に学習できるよう工夫している。 (4) 各楽器の練習曲の他に、様々な楽器によるアンサンブルの楽曲も多く、打楽器コーナーも充実している。多くの楽器に触れ良さを感じることができるよう配慮している。 (5) 写真や図など様々なアングルで大き目に配列し、生徒に分かりやすいよう視覚的な工夫がある。意欲的に学習しやすい配慮がある。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) それぞれの楽器の演奏家による演奏法が写真で掲載されておりわかりやすい徐々に難易度が上がるように配列されており、無理なく技能の向上ができるような工夫をしている。 (2) 関連する鑑賞曲を示したり、楽器による創作ページを掲載したりして、表現活動に偏ることなく幅広く発展的に学べる配慮をしている。 (3) 「学びのコンパス」では意欲を高め、対話的な深まりがみられるような活動が紹介され、主体的な学習ができるよう配慮している。 (4) 多くの曲がソプラノリコーダーにも対応しておりアルトリコーダーを履修しない学校や生徒個人への弾力的な配慮をしている。 (5) 各楽器の奏法など、写真や図で手の細部までわかりやすいよう工夫している。 (6) 曲のはじめに目標を示したり楽器の奏法を具体的に示したりし、自ら自己評価しながら学習を進めることができるような工夫をしている。
4 全体的な特色	・表紙、表紙裏のインタビュー、資料、吹き出しなどから、生徒の意欲を高めたり、ワークシートにより題材の見通しを持ちやすかったりするなど、主体的、対話的、協働的な学びを深めていけるよう配慮されている。 ・必要なページにQRコードが掲載されていて、その題材の学習に必要な情報をすぐ得られるよう工夫されている。 ・色彩が落ち着いていて、レイアウトがすっきりして見やすく、生徒が学習しやすいようユニバーサルデザインにも配慮している。
5 総合所見	・はじめは簡単な技術でその楽器の面白さを体感し、技能を身に付けた後、発展的な内容をいろいろな視点から学べるようになっている。生徒が「音楽的な見方・考え方」を働かせて活動できるよう工夫されている。 ・日本と世界の楽器を比較したり、創作や鑑賞を結び付けたりするなど、対話的で深い学びができるよう工夫されている。また、主体的に楽器にかかわろうとする態度を育てることができる。

採択基準	発行者名 開隆堂（美術）
1 教科の目標からの配慮	・知識では、キャラクターの言葉により造形的な見方・考え方を働かせる工夫がされており、技能では、巻末の資料により基礎基本を扱う等、配慮されている。 ・全ての題材で、「学習の目標」から始まる同じ構成で、各教科書の巻末に「学びの資料」が添えられるなど、主体的な学びにつながるよう配慮されている。 ・「生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる」ことにつながるよう、図表や文が工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 身の回りの題材から始まり、学年を追うごとに題材の対象が広がったり、題材を関連付けて展開したりするなど、各学年の発達段階に応じた表現ができるよう題材配列が工夫されている。 (2) 多くの生徒作品が掲載されていたり、キャラクターによるつぶやきでは、表現のための造形的な視点や、主題を生み出すヒントが記されたりするなど、生徒がイメージを膨らませやすい工夫がされている。 (3) 近年話題になったアニメや美術館の企画展の作品などが多く掲載されていることが生徒の興味関心を高め、主体的・対話的な活動につながる。 (4) 用具の扱いについて特記されていたり、巻末の「学びの資料」により、基本的な技能について記載されていたりするなど、安全性に配慮されている。 (5) 表紙を凹凸感のある装丁とするなど質感を感じられる工夫があり興味をもちやすかったり、題材ごとに、「鑑賞」「知識・技能」「発想・構想」の3つの観点で紙面を構成し読みやすかったりするなどの配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 図画工作とのつながりが意識されていたり、題材ごとに発達段階に応じた「学習の目標」が示されたりしており、系統的に学習できるように配慮がなされている。 (2) 題材ごとに「鑑賞」「知識・技能」「発想・構想」で構成されているため、鑑賞を導入とした表現活動を行えるなど、相互に関連させた指導ができるよう配慮されている。 (3) グループ、ペア、個人など様々な学習形態による学習の様子が写真で掲載されており、相互に関わり合いながら主題や表現方法について考えたり、見方・考え方を広げたりするための授業構成のヒントとなっている。 (4) 題材ごとに必要な技法や手順が、各教科書の巻末にある「学びの資料」に適確に示されており、思いを具体的に表現するための手助けとなる工夫がされている。 (5) 生徒の思いに寄り添うような題材名と、それに関連した作品が、時代や表現方法を超え多面的に掲載されており、学びに広がりをもたせやすくなっている。 (6) 題材の初めに「学習の目標」が「知」「思」「学」の表記と共に示されており、題材に於ける指導内容と評価のポイントが、教師と生徒で共有できるように工夫されている。
4 全体的な特色	・先生のキャラクターの発問を受け、生徒のキャラクターが造形的な見方・考え方を働かせる気づき等をつぶやく様子が掲載されており、教科書の中で授業が展開される仕様になっている。 ・様々な学習形態による学習の姿の写真が掲載されており、多様な学び方を習得したり、主体的・対話的で深い学びにつながったりするよう工夫されている。
5 総合所見	・制作の様子や豊富な作品例が掲載されており、キャラクターの発問や造形的な見方・考え方を働かせたつぶやきにより、鑑賞や活動の焦点化されていることで、生徒が主体的に鑑賞や表現ができるよう工夫されている。そのため、教師が教科書に沿って授業を行うことで、一定の学びができるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 光村図書（美術）
1 教科の目標からの配慮	・キャラクターや生徒による造形的な見方・考え方によるつぶやきや、「POINT」では疑問の形で造形的な視点に導くなど、〔共通事項〕を意識できる工夫がある。 ・また、別冊資料には基本的な技能等が適切に載せられている。 ・多様な作品例や、発想・構想の例が掲載され、生徒の思考を助ける工夫がある。 ・作品に添えられた作者の言葉や、作品が生活の中で役立つ様子が分かる写真により、生活や社会の中で学びを生かそうとする態度を養う配慮がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 発達段階に応じた題材が配置され、材料や道具が取り上げられている。また多様な表現の写真が幅広く掲載されるなど、個人差にも配慮されている。 (2) 「みんなの工夫」について取り上げ、個人差に応じた表現の多様性について伝えたりするなど、イメージを豊かにする配慮がされている。 (3) 導入で扱うことができる鑑賞作品が大きく掲載されており、見出し文や「POINT」に示される問いかけの言葉により、生徒同士の対話を通じた活動ができるよう工夫されている。 (4) 教科書とは別に別冊の資料がついており、用具の使い方の注意点が、黄色で分かりやすく記されるなど、安全性への配慮がなされている。 (5) 図表が大きく質感が捉えやすい。また、開いた際に見やすい工夫がされている。それぞれの題材で「鑑賞」と「表現」の2つの観点で構成されており、生徒が整理して考えられるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 身近な対象から始まり、学年を追うごとに、美術と生活や社会とのつながりや自己の内面を扱う題材になるよう、題材配列に工夫がされている。 (2) 各題材で、導入の「鑑賞」、「表現」、生徒作品の「鑑賞」の順に構成されるなど、鑑賞と表現を相互に関連させた指導ができるよう工夫されている。 (3) 造形的な視点を「POINT」として特記し、その多くを「なぜ～なのだろうか」の疑問の形で記すことにより、授業の課題設定がしやすくなっていたり、「みんなの工夫」では、作者である生徒の思考の流れが写真とともに掲載されており、見方・考え方を深めたりできるよう配慮されている。 (4) 別冊の資料に、「材料」「用具」「技法」「色彩」などが具体的に示され、複数の方法が大きな写真とともに適切に例示されている。 (5) 浮世絵など日本の絵画についての特設ページでは、紙質を変えて和紙の雰囲気を出すなど、実際の作品に寄せた雰囲気を味わえる工夫がされていたり、デザイン・工芸分野では、実際に食べ物を盛ったり花を生けたりするなど、生活の中で活用される様子が伝わるよう工夫されている。 (6) 各題材名の横に3観点の目標が書かれ、題材ごとのページの最後に生徒作品や作者の振り返りの言葉が示されるなど、題材のまとめが明確になっている。
4 全体的な特色	・キャラクターや生徒の言葉による造形的な見方・考え方によるつぶやきが掲載され、また「POINT」では疑問の形で造形的な視点に導いたり、発想・構想場面での思考の動きがつぶやきとして掲載されたりしており、生徒が、教科書を見れば学べるよう工夫されている。 ・題材のはじめにある目標と併せ、ページの終わりには振り返りの言葉が示されており、課題設定と振り返りが確実にできるよう配慮されている。
5 総合所見	・課題設定となる教師の発問から鑑賞の視点、発想・構想のヒント、振り返りまでが分かりやすく丁寧に記されており、教師の専門性の高さや経験、研究の深さにかかわらず、教科書にそって授業を進めていくことで、一定の学びが保障されるように作られている。 ・教科書を読み進めることで、生徒が主体的に学習できるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 日本文教出版（美術）
1 教科の目標からの配慮	・「造形的な視点」が示され〔共通事項〕が意識でき、また各題材のページや巻末の「学びを支える資料」では、用具の扱いなどが適確に掲載されており、個人追求を支えている。 ・「表現のヒント」や作品に添えられた作者の言葉により、見方・感じ方を広げたり、発想・構想を深めたりする工夫がされている。 ・様々な分野で活躍する有名人が美術について語る内容や、作品が活用される様子が掲載されるなど、美術と生活や社会との関わりを伝える配慮がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 各学年の発達段階に応じた題材が配置され、発達段階に応じた材料や道具が取り上げられている。また、「表現のヒント」として、発想・構想の視点について例が示されており、発達段階や個に応じて参考にすることができるよう工夫されている。 (2) 提示文や作品例に生徒が思考を深める余白があり、「表現のヒント」などを基に体験的に学習を深めることができる。 (3) 題材ごとに、その題材での「造形的な視点」が示され、造形的な見方・考え方〔共通事項〕が意識できるよう工夫がされている。 (4) 各教科書の巻末の「学びを支える資料」で、基本的な技能についてまとめられており、「！注意しよう」の記述で安全を呼び掛けている。 (5) 作品の明暗や色が美しく再現され、魅力ある紙面となっている。また、白を基調とした落ち着いた紙面のレイアウトにより読みやすい工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 「美術1」「美術2・3上」「美術2・3下」の3冊構造となっており、「美術2・3下」では、生活や社会とのつながりや多様性、また修復など美術に関する職業についてイメージできる内容が掲載されるなど、発達段階に応じた題材が配列されている。 (2) 「鑑賞の入口」での問いかけの言葉と、表現の学習での「造形的な視点」とが緩やかにつながり、表現と鑑賞の活動全体で、造形的な見方・考え方が自然に働くよう指導できる工夫がされている。 (3) 各題材に「表現のヒント」が示されており、発想・構想の場面で造形的な見方・考え方を働かせるヒントとなる内容が書かれていることで、生徒の見方や感じ方などを広げ、深められるよう工夫されている。 (4) 各教科書の巻末にある「学びを支える資料」により、各題材に対応した技法や材料に関する内容が掲載され、主題が具現化できるよう配慮されている。 (5) 主題に応じた多様な表現方法の作品例が多く配置されており、個に応じて参考にしながら表現活動が行えるような工夫がされている。 (6) 題材の初めに、題材の目標が3観点を示すマークと共に示されており、指導と評価のポイントを、教師と生徒が共有できるようになっている。
4 全体的な特色	・美しい印刷とゆとりあるレイアウトにより、読みやすく魅力ある紙面となっており、生徒が主体的に鑑賞できる工夫がある。 ・「鑑賞の入り口」「造形的な視点」「表現のヒント」がほどよく配置されており、生徒の考えを狭めることなく自由な思考ができ、追求を深めていくことができるよう工夫されている。
5 総合所見	・掲載内容が絞られているため、生徒が自由に思考を広げ深めたり、教師が学校や生徒の実態に応じた授業づくりをしたりすることを許容するゆとりがある。それにより多様な授業が生まれやすかったり、生徒が実際に活動したり考えたりしながら、思いや気づきをもとに造形的な見方・考え方を広げたり深めたりしやすくなることが考えられる。

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 新しい保健体育）
1 教科の目標からの配慮	・「見つける」→「学習課題」→「課題の解決」→「広げる」の一連の流れで構成されており、主体的・対話的な学びを通して、思考力、判断力、表現力等が育成されるよう配慮されている。 ・日常生活での経験や既習事項を基に、多様な学習活動を行うことで知識・技能を習得することができるように工夫されている。 ・小学校や高等学校とのつながりや関連する資料等が示され、生涯を通じて心身の健康を目指す工夫がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 （本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等）	・見開き構成で左側に本文、右側に資料、右下に二次元コードが配置されており、統一されたレイアウトで資料も活用しやすいよう配慮されている。 ・「見つける」で学習課題を把握し、終末の「広げる」までの4つのステップで構成され、学習過程が明確になり、主体的な学びや学習内容の理解が深まるように工夫されている。 ・学習したことを日常生活やSDGsの目標達成など単元以外の学習との関連を深める配慮があり、生徒の学習のまとめ・自己評価の充実につながる工夫がなされている。 ・巻末に「資料」「スキルブック」を掲載し、健康や安全に関するスキルがまとめられ、学習内容の理解の深まりや実践につながるように工夫されている。 ・デジタルコンテンツが充実しており、紙面の情報と併用しながら映像で再確認することができ、ICTを効果的に活用できるよう配慮され、生徒の主体的な追究の充実が図られている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い （「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価）	・章扉では、保健体育に関する職業の紹介がされており、キャリア教育の視点からも関連づけながら学習を進められるよう工夫されている。 ・学習課題が見開き2ページの左上部に示され、導入の見つけるを日常経験などから課題発見につながる発問形式にし、主体的に取り組む工夫がされている。 ・今日的課題に関わるコラム等を掲載し、他教科とも関連させながら発展的な学習につなげて活用できる工夫がされている。 ・キーワード解説や章末にwebを使った学習のまとめがあり、生徒が繰り返し習得状況を確認でき、学力の定着に配慮をしている。 ・多彩なシュミレーションコンテンツが用意されている。コンテンツ上での操作、疑似体験により生徒の理解が深まるよう配慮されている。 ・学習課題の欄に「キーワード」が示されており、学習内容を明確にするとともに、資料と関連づけながら学習の定着が図れるよう配慮されている。 ・学習したことを自他の生活に当てはめて考える活動が設けられ、学びへの意欲が高まるように工夫されている。
4 全体的な特色	・見開き2ページが1時間、4ステップで構成され、キーワードを意識して主体的に課題解決に取り組めるように工夫されている。 ・各章末の「学習のまとめ」「章末資料」、巻末の巻末スキルブックが示され、学んだことを確認したり、日常生活に生かしたりするなど学習を発展的に深めることができるように工夫されている。
5 総合所見	学習の流れが「見つける」→「学習課題」→「課題の解決」→「広げる」の4つで構成され、課題解決学習につながる工夫がされている。また、資料等と関連づけながら思考力・判断力・表現力等を育成することができるように工夫されている。「キーワード」が示されており、学習内容を明確にし、資料と関連づけながら学習の定着が図れるよう配慮されている。また、デジタルコンテンツが充実し効果的なICT活用に繋がると考える。 見開き2ページ内の課題解決のための資料が少なく感じる。

採択基準	発行者名 大日本図書（中学校保健体育）
1 教科の目標からの配慮	・学習すべき内容の習得において、キーワードで学習を振り返ることで基礎的・基本的な学習の定着を図ることができるように工夫されている。 ・巻頭に「1時間の学習の主な流れ」や様々な学習活動を提示し、思考力、判断力、表現力等の育成をバランスよく育成を図る工夫がされている。 ・3年間の保健体育の学習と自己実現とのつながりを示し、全体像を捉え、見通しを持って学ぶことができるように工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	・導入の「学習のねらい」で学ぶ目的がつかみやすくなっており、「つかもう」の問いかけから、身近な疑問から日常生活と関連付けて興味や関心を高められるよう配慮されている。 ・ページ下部には「ミニ知識」が掲載されており、学習内容と日常生活を関連させて考えることができるよう配慮されている。 ・2ページの見開きの構成になっており、左ページが本文エリア、右ページが資料エリアと統一されており、ユニバーサルデザイン（UD）フォントを使用してカラーデザインを踏まえた配色が工夫されている。 ・知識の定着を図るために、各小單元においてキーワードで学習内容の振り返りをし、各章末では重要語句が示され理解を深める工夫がされている。 ・青い帯で見出しと関連資料番号を表示し、学習内容と資料との関連づけをし、学びやすいように配慮している。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	・「話し合ってみよう」を多く設け、手がかりとなる資料を示し、どの生徒も考えを持てるための配慮がされ、対話的な活動を通して、見方や考え方を深められるよう配慮されている。 ・各章末の「学びを活かそう」で、自らの課題を発見し、主体的に取り組むなかで、対話を通して思考を広げる活動へつなげ、深い学びができるよう配慮されている。 ・各章の章扉では、小学校、中学校、高等学校を通じた系統性のある学習ができるように、小学校や高等学校の関連する学習内容が視覚的に理解できるように示されている。 ・多様性の尊重、感染症、情報リテラシーなど現代的な諸問題に対応した内容の取り扱いが多く、本文左に「トピックス」が設けられ、実生活に関連させて学習指導ができるよう配慮されている。 ・各單元には学習内容に関連する資料等へのリンクを掲載し、單元相互や他教科と関連させて、学習指導ができるよう配慮されている。
4 全体的な特色	・全ての単元で、本文（左ページ）、資料（右ページ）に分けて示され、本文と資料の関係をわかりやすく示し、学習内容を整理しながら学ぶことができるよう配慮されている。 ・豊富な口絵や写真等で生徒の興味・関心を高め、主体的に学習が進められるように使いやすく工夫されている。
5 総合所見	学習内容や豊富な資料を活用することで、対話的に学び、見方・考え方を広げ、深められるように配慮されている。また、学習活動においては様々な活動を行いながら、思考力・判断力・表現力等を育成できるように配慮されている。 章末にキーワードがまとめられ学習を振り返り、web 問題など知識の定着が確認できるように配慮されている。 本文（左ページ）、資料（右ページ）に分けて示されているが、本文と資料の関連に分かりにくさを感じる。

採択基準	発行者名 大修館書店（最新 中学校保健体育）
1 教科の目標からの配慮	・「つかむ」→「身につける・考える」→「まとめる・振り返る」という3つの流れで構成され、知識及び技能の定着を図ることができる。 ・学習した知識を基に自分の考えを表現したり、他者と話し合い、互いに考えを深め合ったりして、思考力、判断力、表現力等の育成を図る工夫がされている。 ・小・中・高の学習内容の系統性がわかるよう明記し、見通しや興味・関心をもって学習を進めていくことができるように工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	・見開き2ページに、1時間分の内容がまとめられ、写真や資料が豊富に掲示してあり、生徒が見通しを持って課題解決できるように配慮されている。 ・関係する資料が本文中に示されており、本文と資料を関連づけて学びやすくなるように配慮されている。 ・すべての本文中の見出しは「○○は○○である」という形式に統一されており、本文理解を助けるための要点を簡潔に示すよう工夫されている。 ・学習と関連する内容が他のページや他教科にあることを示し、生徒が他の学習内容と関連づけながら学びを深めたり、広げたりすることができるよう配慮されている。 ・導入の発問や資料等を罫線で囲んだり、色覚の特性に対応した図やグラフを採用したりするなどの配慮がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	・章の扉に小学校・中学校・高校の学習内容が示され、学習内容の系統性が分かるように配慮されている。 ・「保健クイズにトライ」が毎時間ページの下部に示され、振り返りや学習の定着に活用できる工夫がされている。 ・「学習のまとめ」では、自ら考え、判断し表現する力を高められるように工夫されている。 ・挿し絵、「コラム」「事例」「掘り下げる」などが多く掲載され、自分の生活をイメージしたり、社会との関わりを考えたり、主体的な学びにつながる工夫がされている。 ・導入「課題をつかむ」では、小学校で学んだことを元にして考えたり、他教科と関連させて考えたりして課題を捉えられるように工夫されている。 ・「特集資料」が示されたり、「章のまとめ」は観点別評価で構成されたりしており、学習内容の定着や日常生活の見直しにつながるよう配慮されている。 ・ディスカッションやブレインストーミングの場を設定して、仲間と対話したり、個人追究したり様々な方法が明記され、主体的な学びと協働的な学びの充実に向け配慮されている。
4 全体的な特色	・冒頭に3ステップの学習の進め方が示され、学習内容を3ステップで構成し、見通しをもって主体的に学習が進められるように工夫されている。 ・巻頭、巻末資料や本文中の各コーナーや特集資料が設けられ、学習内容を広げたり、深めたりすることができるように工夫されている。
5 総合所見	「つかむ」→「身につける・考える」→「まとめる・振り返る」という3つの流れと章末のまとめで構成され、見通しをもって学習を進められるように配慮されている。 資料が多岐にわたり生徒が興味や関心をもてるように配慮されている。また、章末の「章のまとめ」によって学習内容の振り返り、定着を確認しながら自己評価できるよう配慮されている。

採択基準	発行者名 学研教育みらい（新・中学保健体育）
1 教科の目標からの配慮	・毎時間の最後の「学びを活かす」に、実践的な課題に取り組むことを通して知識及び技能の習得を深める工夫がされている。 ・生徒の発達段階を踏まえて、工夫された身近な問題、自他の問題などの課題を用いて対話等で学びを進め、思考力・判断力・表現力等の育成を図る工夫がされている。 ・興味・関心を高めるための導入の発問で、生徒の気づきや疑問からスタートし、主体的な学びを生み出す工夫がされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	・写真や図が豊富にデザインされて掲示され、保健体育の魅力や保健体育の学び全体に興味・関心が高まる工夫がされている。 ・「ウォームアップ」から始まる学びは、見出しに簡単な吹き出しを入れ、短時間で課題が明確につかめるように工夫されている。 ・本文以外にも「資料」や「コラム」を設け、身の回りにある様々な課題を取り上げ、関連した内容や他分野から別の視点で捉えたり、基本的な知識を深めたりすることができるよう配慮されている。 ・ユニバーサルデザインに基づいて編集されており、マークの配置や色の統一、UDフォントの使用等、グラフや図の読みやすさと理解しやすさに配慮されている。 ・各章末の「探究しようよ!」によって、個々の興味・関心に応じて、課題を解決する学習に繋がる工夫がされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	・章扉には、中学校の学習内容に関係した写真や資料、コラムが示されており、イメージしながら見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。 ・章の始まりに「学びたいこと」を記入したり、直接教科書に、考えを記入したり、チェックしたりできるように構成され、学びを振り返られるように工夫されている。 ・章のまとめには、学習したキーワードや観点別の振り返りや単元テスト形式の「確かめよう」が示され、学習の定着が確認できるように配慮されている。 ・実習では方法の要点を押さえるだけでなく、仲間と見合ったり、教え合ったりしながら学べるようにすることで、知識が定着するよう配慮されている。 ・授業の学びを広げるための「エクササイズ」では、対話的な活動につながる内容が示され、課題解決へ向かうさまざまな方法を学ぶことができるよう配慮されている。 ・見開きの下に「章デジ (QR コード)」があり、以前学習したことや、関連する学習内容と組合せながら、資料などを自ら選んで学習できる工夫がされている。
4 全体的な特色	・単元の導入で興味・関心を高め、生徒が自らの生活と関連づけながら追究し、終末の実践的な課題に取り組む流れが、主体的に学べるよう工夫されている。 ・工夫された課題や課題解決に向けた学び合う活動など、思考・判断・表現を重視しながら協働的な学びへつながる工夫がされている。
5 総合所見	どの単元も目標が明確に示され、生徒自ら課題をもち、解決に向かう学習ができるよう配慮されている。また、豊富な写真やイラスト、図、資料の配列が整っており、生徒が様々な「見方・考え方」をはたらかせながら追究していけるように工夫されている。 キーワードや重要語句などが分かりやすく配列され、見やすい見開き2ページの構成になっており、学習意欲の向上や基礎的な知識が習得できるように工夫されている。

採択基準 発行者名	東京書籍（新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology）
1 教科の目標からの配慮	・ 原理・法則や基礎的な仕組みについて、図などを効果的に掲載し科学的根拠に基づく知識及び技能が身に付くよう工夫がなされている。 ・ 多様な問題解決例を数多く取り上げ、個々の課題設定や課題解決に生かすことができるよう配慮がなされている。 ・ 今日社会で問題にされている課題に取り組む技術を紹介することで、生徒の興味・関心が高まるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 身の回りの問題解決から社会の問題解決まで、基礎・基本から応用・発展へと学べるよう、単元構成の工夫がなされている。 (2) 「どのような問題をどのように解決するか」という問いから始まり、「問題解決例」や「もっと問題解決」等の身近な例から、生活を工夫し創造することができるような題材構成の工夫がなされている。 (3) 「技術のめがね」「最適化の窓」「技術の工夫」などの身近な例を掲載し、興味・関心をもった追究ができるよう工夫がなされている。 (4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止のポイントを、ガイダンスや「安全」マーク、「衛生」マークで記し、安全面・衛生面への配慮がなされている。 (5) さし絵・写真・図表・配色等が鮮明で、本文はユニバーサルデザインフォントを使用している。実習例等を見開き2ページに大きく表示し、学習の見通しが持てるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) ガイダンスで、3年間で身に付く資質・能力について、小学校での学習や、他教科との関連がつかめるよう配慮がなされている。 (2) 生活や社会と技術との関わりや、「すごいぞ！技術」で各内容に関連する最先端の技術を紹介することで、生活との関連性や社会変化に対応した技術に関心もてるよう配慮がなされている。 (3) 各編の導入において、身の回りの製品や社会における技術の最適化について取り上げ、「技術の見方・考え方」によって、既存の技術の工夫を読み取ることができるよう配慮がなされている。 (4) 原理や技術の工夫について個別に調べたり、ワークシートや思考ツールを活用して他者と学び合ったりする場面を設定することで、主体的に学ぶことができるように配慮されている。また、「技術による問題解決」のプロセスを社会の事例とともに示すことで、社会との連携に発展するように配慮されている。 (5) さし絵・写真・図表等の内容は適切で、文章と関連をもたせた構成になっており、随所に二次元コードを配置することで、具体的に学習を広げられるよう配慮がなされている。 (6) 節の冒頭に観点別評価につながる目標を示し、編末には評価の観点に沿った設問を掲載することで、生徒が身に付けた資質・能力を確認できるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	・ 問題発見・解決の流れや道筋を丁寧に示し、テーマに即した学習の進め方や学び方がわかりやすくなるよう工夫がなされている。 ・ 生徒の学びと社会課題をつなぐ具体例を提示し、将来に渡って技術と生活の関わりを考えられるよう工夫がなされている。
5 総合所見	○教科書と連動した QR コンテンツによって、学習の進度や興味・関心に合わせて、より個別や集団に応じた学習が進められる工夫がされている。さらに、技術の見方・考え方について、丁寧に説明され、教科書全体を通して、技術を工夫し創造し続けられる資質・能力の育成ができるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 教育図書（新技術・家庭 技術分野 明日を創造する/スキルアシスト）
1 教科の目標からの配慮	・ 学習の流れが意識しやすい配列になっており、学習意欲の喚起、自主的な学び、学習理解の確認ができるよう工夫がなされている。 ・ 問題解決の流れを4ステップでまとめ、生徒が見通しをもち、自己調整しながら問題解決の力を養うよう配慮がなされている。 ・ 生徒自身の問題解決から視線を広げ、社会の発展と技術について多面的に評価し、活用する態度を育めるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 授業時数や生徒の発達段階などに配慮し、学習指導要領の内容に沿って系統的に学習できるよう配列されている。 (2) ガイダンスや各章で、「見つける」「学ぶ」「ふり返る」等の身近な問題から、生活を工夫し創造することができるよう題材構成の工夫がなされている。 (3) 「スゴ技」や「技ビト」のコラムにより、生活や社会の中で使用される技術に興味・関心をもてるよう工夫がなされている。 (4) 詳しい手順や安全について写真や図が見開きでまとめられたスキルアシストが手元にあることで、何度も確認しやすいなど、安全面・衛生面への配慮がなされている。 (5) さし絵・写真・図表・配色・文字が鮮明で、ユニバーサルデザインを意識した構成になっている。レイアウトは見開きを有効に活用しており、本文とそれ以外の資料との区別が明確である。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) ガイダンスや各編の冒頭などに関連マークを用いて、他教科や小学校の学習との関連がつかめるよう配慮がなされている。 (2) 「環境」マーク、「共生」マーク、SDGsの目標に対応したマークを適所に記すことで環境への意識を高め、持続可能な社会に対応していく態度が身に付くよう配慮がなされている。 (3) 各編で、「技術の見方・考え方」を働かせ、「見つける」「学ぶ」「ふり返る」という学習の流れから「プチ問題解決」や「考えてみよう」を積み重ねることで主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮がなされている。 (4) 想像しやすい発問を対話形式で掲載し、調べたり、考えたりしたくなるような「やってみよう」を配置するなど、他者と関わり合いながら主体的に学ぶことができるよう配慮がなされている。 (5) さし絵・写真・図表等の内容は適切で、説明やタイトルなどが記述されており、各編扉に伝統的な工芸や新技術等も幅広く取り扱えるよう配慮がなされている。 (6) 各章、各編の終わりには学んだことをまとめる内容や、評価の観点に沿ったまとめ問題がそれぞれ配置されており、内容を確認できるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	・ 身近な事例から問題発見・解決の流れを学ぶページがあり、生徒が主体的に問題解決に取り組めるよう工夫がなされている。 ・ 身近なテーマに関わる資料を豊富に掲載することで、興味・関心を引き出し、学ぶ意欲を高められるよう工夫がなされている。
5 総合所見	○学習意欲を喚起し、自主的に学び、学習理解の深まりを確認できるような基本配列の構成となっている。また、導入で簡単な題材の製作をすることで、技術の良さを感じながら学習を進めていく構成になっており、生徒が興味・関心を持ちやすいように配慮されている。

採択基準	発行者名 開隆堂（技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて）
1 教科の目標からの配慮	・ 社会や環境と技術の関わりについて理解を深めながら、知識及び技能が身に付くよう工夫がなされている。 ・ 学習課題を明示することで生徒の問題意識を高め、自ら解決しようとする能力を養うよう配慮がなされている。 ・ 技術の在り方や活用の仕方を客観的に判断・評価し、主体的に活用する態度を育むよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 生徒の生活経験や発達段階及び授業時数などを考慮して各内容が系統的に学習できるよう配列されている。 (2) ガイダンスや各内容の中で、「見てみよう」「調べてみよう」等の身近な問題から、生活を工夫し創造することができるような題材構成の工夫がなされている。 (3) 学習を深めたり、個別最適な学習を実現したりするための学習コンテンツが充実していることで、興味・関心をもって学習できるよう工夫がなされている。 (4) 実習中等の安全な作業の方法や事故防止について、全体像をイラストで記したり、ポイントを「安全」マークで記したりするなど、安全面への配慮がなされている。 (5) さし絵、写真、図表、配色等が鮮明で、ユニバーサルデザインフォントを使用している。レイアウトは見開きを有効に活用しており、資料との区別が明確になるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 小学校や他教科との関連をとびらページで示し、学年・教科等横断的なカリキュラムを構成しやすいよう配慮がなされている。 (2) 導入では最先端技術や現代技術の課題、問題点を考える話題を取り上げ、章末では生徒のキャリア形成につながる「技術にかかわる方のインタビュー」を掲載するなど、生活や社会との関連性に配慮した題材の配列になっている。 (3) ガイダンスページで「技術の見方・考え方」を取り上げ、各内容でそれを働かせる授業展開になっており、既存の技術を、「技術の見方・考え方」で読み解くことができるよう配慮がなされている。 (4) 「実験」や「ワークシート」が随所に配置されており、他者との関わり合いをもちながら主体的に学ぶことができるよう配慮がなされている。また、「技術と私たちの未来」では、新しい技術について評価し、活用方法を考えることで技術の学習が未来につながる内容で構成されている。 (5) さし絵、写真、図表、配色等は分かりやすく、生徒目線のアングルで撮影した写真が使用されるなど、学習を広げる配慮がなされている。 (6) 各学習項目の最後に「CHECK」、内容の終わりに「学習のまとめ」を設け、学習内容の確認や、技術の仕組み、工夫の評価と、学びを深める発展的なまとめができるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	・ 「技術の見方・考え方」を理解した上で、実際にそれをどのように働かせるかを考えられるよう、全体の構成が工夫されている。 ・ 身近にある技術の話題を豊富に扱い、技術と社会のつながりの理解を深められるよう工夫がなされている。
5 総合所見	○各内容とも大切なポイントがわかりやすくまとまっていて、基礎的・基本的な知識や技能を習得しやすい。また、既存の製品を技術の見方・考え方からとらえる活動を入れることで、社会やこれからの技術に視点を広げられる配慮されている。

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して）
1 教科の目標からの配慮	・実践的・体験的な活動について、「いつも確かめよう」で確認し、基礎的な知識及び技能を身に付けられるよう配慮がなされている。 ・「やってみよう」などを活用し、問題解決的な学習を行い、生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮がなされている。 ・ガイダンスや各編の導入で「生活の営みに係る見方・考え方」を例示し、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 衣食住の身近な内容を前半、幼児の生活と家族を後半に配置し、自立から共生への発展的な学習ができるよう題材配列の工夫がなされている。 (2) 「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」を設け、生活や社会の中から問題を見だし、主体的な学習が実現できるよう題材構成がなされている。 (3) 物事を考えたり、意見を整理したりする際に有効な思考ツールを示し、家庭生活を実感的に捉えられるよう配慮がなされている。 (4) 巻頭の「実習を楽しく安全に進めよう」や実習例に「安全」「衛生」などのマークを付けると共に、科学的根拠に基づいた説明などで、安全面や衛生面への配慮がなされている。 (5) 各内容や説明に関連した実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが随所に掲げられ、生徒の学ぶ意欲を高める配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 「リンクマーク」により、他の内容や他教科との結び付きを示し、学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるよう配慮がなされている。 (2) 図表や写真、各種マークやキャラクターのセリフなどにより、生徒の家庭生活や地域の行事等の関連に応じられるよう配慮がなされている。 (3) 「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせる発問を設け、実践的・体験的な活動を通して、主体的に相互に関わりながら活動できるよう、生徒の実態に合わせた題材の取扱いがなされている。 (4) 「レッツスタート」で個別や集団での学びを促し、「生活の課題と実践」で家庭と連携してできる内容で構成がなされている。 (5) さし絵・写真・図表等を活用して、課題解決につなげたり、現代的な生活の課題を考えたりできるよう配慮がなされている。 (6) 「学習のまとめ」を見開きで設け、まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	・各編の導入において、関連する見方・考え方のキーワードを示し、多角的な視点から考えたり判断・決定したりして、問題解決に取り組めるよう工夫がなされている。 ・各節のはじめに「学習課題」を示し、課題意識をもって学習に取り組めるよう工夫がなされている。
5 総合所見	・「生活の営みに係る見方・考え方」を働かせる場面を分かりやすく例示することで、主体的に学習に取り組みやすくなるとともに、協働の学びにつながるワークシートや思考ツールを用いて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成できるよう工夫されている。

採択基準 発行者名	教育図書（新 技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する）
1 教科の目標からの配慮	・実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的な知識及び技能を身に付けられるよう配慮がなされている。 ・「学びを生かそう」などを活用し、問題解決的な学習を行い、生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮がなされている。 ・学習に関わりのある地域や社会の人々のメッセージを示し、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 内容を学習指導要領の記載に沿って配置し、それぞれを相互に関連付けて発展的な学習ができるよう題材配列の工夫がなされている。 (2) 「学びを生かそう」では、問題の発見から課題の解決、次の課題へつなげる6つのステップを統一することで、生活を工夫し創造できるよう題材構成がなされている。 (3) 各章の導入に「自立度チェック」を示し、家庭生活を実感的に捉えられるよう配慮がなされている。 (4) 「実習は安全に取り組もう！」や、各内容実習例に「安全」や「衛生」のマークを付し、安全面や衛生面への配慮がなされている。 (5) 各内容や説明に関連した実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが随所に掲げられ、生徒の学びへの意欲を高める配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 「関連」のマークにより、他の内容や他教科との結び付きを示し、学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるよう配慮がなされている。 (2) 巻頭頁の写真やイラスト、「伝統文化」や「共生」マークにより、生徒の家庭生活や地域の行事等の関連に応じられるよう配慮がなされている。 (3) 「見つめる」で、「生活の営みに係る見方・考え方」の視点を用いて生活事象を捉え、主体的に相互に関わりながら活動できるよう、生徒の実態に合わせた題材の取扱いがなされている。 (4) 「見つめてみよう」で個別や集団での学びを促し、「生活の課題と実践」で家庭と連携してできる内容で構成がなされている。 (5) さし絵・写真・図表等を活用して、課題解決につなげたり、現代的な生活の課題を考えたりできるよう配慮がなされている。 (6) 各学習の「ふり返る」と、各章末に「学習のふり返り」を設け、まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	・章末の「学びを生かそう」で、これまでの学びを踏まえて問題発見、課題設定、課題解決への流れを示し、実践につながるよう工夫がなされている。 ・食品成分表では、食品名の横に6つの食品群を示し、どの食品が何群にあたるのか理解を促す工夫がなされている。
5 総合所見	・「つなぐ、つながる」をテーマに、統一された学習の流れを繰り返すことで、課題を解決する力が身につくと共に、小学校の学びから未来の学びへのつながり、家族や地域・社会・地球環境とのつながりを意識し、時代の変化に柔軟な対応ができる力を育成できるよう配慮されている。

採択基準	発行者名 開隆堂（技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ）
1 教科の目標からの配慮	・実践的・体験的な活動を通して、生活に必要な基礎的な知識及び技能を身に付けられるよう配慮がなされている。 ・「話し合ってみよう」などを活用し、問題解決的な学習を行い、生活の課題を解決する力を育てられるよう配慮がなされている。 ・各内容の最後で、持続可能な生活を目指す問いなどを示し、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を育てられるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 実践的・体験的な内容を前半に配置し、身に付けた知識・技能を生かし発展的な学習（献立づくりなど）ができるよう題材配列の工夫がなされている。 (2) 家庭や地域の人々との関わりなどの身近な生活の問題に目を向け、課題解決への流れと具体的な例示で、生活を工夫し創造できるよう題材構成がなされている。 (3) 「考えてみよう」「話し合ってみよう」などで生徒同士の意見交換ができるように示し、家庭生活を実感的に捉えられるよう配慮がなされている。 (4) 調理や製作等の安全に関わる基礎・基本を示し、実習例に「安全」「衛生」のマークを付し、安全面や衛生面への配慮がなされている。 (5) 各内容や説明に関連した実物大写真、折り込み頁、図表やイラストが随所に掲げられ、生徒の意欲を高めるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 「他のページ」「他教科」「小学校」のマークにより、他の内容や他教科との結び付きを示し、学習指導要領の内容が有機的に関連をもって学習ができるよう配慮がなされている。 (2) 様々な地域や中学生の取り組みを紹介することにより、生徒の家庭生活や地域の行事等の関連に応じられるよう配慮がなされている。 (3) 「話し合ってみよう」で、「生活の営みに係る見方・考え方」の視点を用いて生活事象を捉え、主体的に相互に関わりながら活動できるよう、生徒の実態に合わせた題材の取扱いがなされている。 (4) 「考えてみよう」で個別や集団での学びを促し、「生活の課題と実践」で家庭と連携してできる内容で構成がなされている。 (5) さし絵・写真・図表等を活用して、課題解決につなげたり、現代的な生活の課題を考えたりできるよう配慮がなされている。 (6) 「学習のまとめ」を見開きで設け、まとめや評価の観点が、明確になるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	・各内容の最後に、持続可能な社会の構築に関連した項目を設け、課題を見だし、主体的に考え、行動できるよう工夫がなされている。 ・題材の導入や章末で「先輩からのエール」や「地域の取り組み」を示し、進路や将来につながるよう配慮がなされている
5 総合所見	・自分自身の経験を踏まえた問題の気づきや思考を引き出せるように、導入で身近な話題を用いたり、生活の中から課題を見つけられたりするような記述や問題を配置したりすることで、「自分事」として興味・関心をもって学習に取り組めるような配慮がされている。

採択基準	発行者名 東京書籍 (NEW HORIZON English Course)
1 教科の目標からの配慮	・各単元で扱う新出表現が、4 技能 5 領域を統合したさまざまな練習活動や言語活動を繰り返しながら習得できるよう工夫されている。 ・各単元のとびらに、単元 Goal と Unit Activity、単元を貫く問いが設定されており、Goal に向けて 4 技能 5 領域を習得しながら問いの答えを追求していく構成で、思考力、判断力、表現力を育成できるよう工夫されている。 ・世界各国の文化や習慣、社会問題等を広く扱い、英語学習を通して主体的にコミュニケーションを図ることができるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 1 学年の教科書の Unit4 までが、小学校での学習を振り返ることができる単元として設定されている。また、その期間に音声と文字、つづりについて重点的に学習することができるよう、配慮されている。 (2) とびらページに、単元を貫く問いが関連する写真とともに掲載されており、Goal に向かい、目的意識を持って学習を進められるよう工夫されている。 (3) 各単元で扱う新出表現は、登場人物が日常会話の中で使用する設定となっており、状況や意味が捉えやすくなるよう工夫されている。 (4) 学習内容に沿った絵や写真、図等が豊富に掲載されており、内容を理解したり言語活動を主体的に行ったりすることができるよう配慮されている。 (5) 各学年に、複数回に掲載されている「Learning … in English」では、他教科と英語を関連付けて考えたり、他教科に興味・関心が高い生徒が、英語を通して他教科を学んだりすることができるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 資料として添付されている「Unit Activity Plus」には、各単元の終末に位置づけられている「Unit Activity」に活用できる語句や表現が掲載されており、生徒の必要感に応じて豊かな表現が習得できるよう配慮されている。 (2) 巻末にある「帯活動用 Small Talk」では、即興で質問に答えたり表現を広げたりできるよう、単元ごとに扱っている内容と関連づけてまとめられており、主体的な学びに対応できるよう工夫されている。 (3) 各学年に 3 回設定されている「Stage Activity」では、興味をそそる内容で、目的場面状況が具体的に示されており、既習の言語材料を使って思考しながら活動することができるよう工夫されている。 (4) 各単元の「Read and Think」では、写真や図、表を見ながらラウンドリーディングにより理解を深めていくことができるよう問いが設定されており、まとめのある文章を読み進める力をつけられるよう配慮されている。 (5) デジタルコンテンツが豊富に用意されている。文法の解説動画や思考ツール等、学習内容や進度に応じて個別に取り組めるよう配慮されている。 (6) 巻末の「CAN-DO リスト」では、小学校や高校での学習との接続を意識しながら、年 3 回の「Stage Activity」を通して 5 領域の自己評価ができる仕組みとなっており、学習の積み重ねが確認できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・1 学年当初の学習が、小学校で学んだ言語材料を使った言語活動や、音声から文字へのスムーズな移行を意識した活動が豊富に盛り込まれており、小中の接続を重視した構成になっている。 ・日本はもとより、世界各国の文化や習慣、世界で起きているさまざまな社会問題を扱った内容を英語を使って学習することを通して、多様な社会に対応できる生徒を育成できるよう配慮されている。
5 総合所見	小学校での学習を振り返りながら音声から文字へ移行できるよう、1 学年の学習内容が工夫されている。単元を貫く問いにより、見通しを持った学習ができ、終了後思考の深まりが実感できる構成となっている。また、必要感に沿って個別最適に学習できるようさまざまなコンテンツが用意されている。

採択基準	発行者名 開隆堂出版 (Sunshine English Course)
1 教科の目標からの配慮	・単元の最初の「Scenes」において新出表現を扱い、単元末の「Action」においてその表現を使った言語活動が設定されており、知識・技能の習得を図ることができるよう工夫されている。 ・各単元が、概ね「Scenes」「Tuning in」による知識・技能の習得、「本文」「Review & Retell」「Action」による思考力、判断力、表現力の育成という流れで構成されており、三観点を順を追って定着することができるよう工夫されている。 ・身近な学校生活についての話題から、日本文化、環境、災害、歴史や平和など豊富な話題が取り上げられており、生徒が興味・関心をもって主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 1 学年の巻頭に小学校の学びを振り返る「 Get Ready 」が位置づけられており、既習事項を確認しながら学習を進めることができるよう配慮されている。 (2) 各単元のとびらページには、生徒が問いや疑問を持てるような写真や説明文、主題が掲載されており、生徒が単元の内容を想像しながら学習に取り組むことができるよう工夫されている。 (3) 各単元の最初に、二コマ漫画による「 Scenes 」が設定されており、生徒が興味・関心を持って新出表現の学習に取り組めるよう配慮されている。 (4) 年3回設定されている「 Our Project 」は、主にスピーチが表現活動として設定され、教科書に自分の考えや気持ちを直接書き込んで活用できるようレイアウトが配慮されている。 (5) 1 学年の教科書で使われているフォントや、教科書全体の配色が、生徒が学習しやすいユニバーサルデザインの観点で配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 単元の間に設定されている「 Step for our project 」では、年3回の project に向け、4 技能 5 領域を定着させるために大切なポイントやコツをまとめられており、言語活動を行う上で個の課題に応じて工夫できるよう配慮されている。 (2) 巻末の「 Word Web 」では、各単元の言語活動において使うことができる語句がカテゴリ別々にまとめられており、自身が表現したい内容を多くの例から選んで活用することができるよう配慮されている。 (3) 巻末資料に含まれている「 Small Talk 表現集 」では、各単元で扱われている Small Talk の中で、どのようにまとまりのある文章を表現したらよいかの例が話題別に掲載されており、各自が必要に応じて活用できるよう工夫されている。 (4) 年3回設定されている「 Our Project 」に向け、必要な言語材料を習得、活用するような流れで各単元が位置づけられており、目標に向かって学びを継続できるよう工夫されている。 (5) 年3回設定されている「 Our Project 」で取り上げられている話題が、1 学年の日常的な話題から 3 学年の SDGs 等社会的な内容へと広がっており、発達段階に応じて深い学びを体験できるよう配慮されている。 (6) 巻末資料の「 CAN-DO リスト 」では、各単元、領域別に自己評価できるよう設定されており、各自で学びの進捗を確認できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・各学年の発達段階に沿って、英語学習を通して、身近な話題から、日本文化、環境、災害等豊富な話題に触れることができるよう題材が工夫されている。 ・「Our Project」の活動を軸に、4 技能 5 領域を、順を追って習得、活用することができるようさまざまな言語活動が仕組まれている。
5 総合所見	各単元に、豊富な話題が興味・関心をそそる主題や写真とともに設定されており、生徒が思考しながら学習を進めることができる。また、生徒の課題に沿ったさまざまなツールが用意されており、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 三省堂 (NEW CROWN English Series)
1 教科の目標からの配慮	・各単元の配列が、基礎基本の習得から活用へと繰り返し練習活動を取り入れながら4技能を定着することができるよう工夫されている。 ・単元末に設定されている言語活動が、聞いて話す、読んで書くなど複数領域の技能を使いながら思考力、判断力、表現力を育成できるよう工夫されている。 ・各単元の題材が、身近な学校生活を軸に、異文化や社会問題等さまざまな内容を扱うような設定となっており、他国の背景を理解しながら主体的にコミュニケーションを図ることができるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) どの単元も、とびらページでのGoal設定、各partでの練習活動、Goal Activityによる言語活動が同様に配列されており、生徒が見通しをもって学習しやすい構成となっている。 (2) 1学年の冒頭に「Stater」「My Dictionary」など小学校での学習を振り返りながら、中学校での学習がはじめられるような教材が設定されている。 (3) 写真やイラスト、図やグラフ等さまざまなツールにより内容の理解が深まるよう配慮されている。また、1学年では、ユニバーサルデザインを配慮したフォントが使われており、書く活動へ活用できるよう工夫されている。 (4) どのpartも見開き2ページでまとまりのある学習ができるよう配慮されている。また、扱う内容に関連したSmall Talkが位置づけられており、内容を想像しながら学習を進めていけるよう工夫されている。 (5) 二次元コードから、言語活動の見本動画を視聴したり、発音をチェックしたりできる機能が設置されており、主体的に学習できるよう工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) どの単元も、単元末の「Goal Activity」に向け、新出表現の定着を図る「Exercise」や、本文の内容に関連した話題で伝え合う「Think about Yourself」など、段階的に繰り返し学習することができるよう配列が工夫されている。 (2) 「Take Action」では、オンラインショップやポスター、映画のチケットなど、与えられた場面から目的や状況に合った必要な情報を抜き出し表現できるよう設定されており、思考力、判断力、表現力を育成するよう工夫されている。 (3) 各partに掲載されている「Small Talk Plus」では、対話活動に必要な流れや対話を続けるコツなどの情報がまとめられており、学習を積み重ねることでまとまりのある文章で伝えることができるよう配慮されている。 (4) とびらページに単元終末で行う「Goal Activity」が示されており、Goalに向けて必要な言語材料の習得や練習活動、情報収集等が積み重ねられるよう構成が工夫されている。 (5) 巻末の資料に「Audio Scripts」が掲載されており、生徒が、必要に応じて内容を振り返ったり文字を見ながら音声を確認したりすることができるよう配慮されている。 (6) 巻末の「What Can I Do?」には、見開きで、3年間を見通したCan-Doリストとともに、該当学年で学習した内容を評価できるリストが掲載されており、3年間の中から現在の自己の学びを確認できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・各単元全体が、「Goal Activity」に向け、目的意識を持って4技能を繰り返し練習し活用しながら、自分の考えを整理できるよう構成が工夫されている。 ・二次元コードを活用して、個々の生徒が主体的に音読の練習や動画視聴を通して本文の内容確認ができるよう工夫されている。
5 総合所見	3年間を通して、一貫した流れで構成されており、生徒が見通しを持って学習に取り組めるよう配慮されている。また、扱われている題材が、学校生活から社会問題等へ広がっており、生徒が発達段階に応じて思考力、判断力、表現力を育成できるよう工夫されている。

採択基準 発行者名	教育出版 (ONE WORLD English Course)
1 教科の目標からの配慮	・各 part が、読んだり聞いたりして理解したことを基に表現する構成になっており、習得した知識を基に、コミュニケーションで活用する技術を身につけることができるよう配慮されている。 ・各単元末の「Task」では、目的・場面・状況を明確にした書く活動や話す活動が設定されており、思考力、判断力、表現力を育成できる工夫がされている。 ・各 part や単元末に、自分の考えや気持ちを表現する活動があり、主体的に学習に取り組む態度が育成されるよう配慮されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 1 学年の Lesson2 までは、小学校の内容を振り返ることができる活動が仕組まれており、学習に取り組みやすい構成となっている。 (2) 各 part の「Think & Try」「Read & Try」、単元末の「Task」、年 3 回設定されている「Project」では、自分の考えや気持ちを表現することができるよう内容が工夫されている。 (3) 年 3 回設定されている「Project」では、4 技能 5 領域を統合的に活用できるような活動が仕組まれている。 (4) 「Activities Plus」では、特に即興的なやりとりの力を伸ばすことができるよう既習表現や既習の言語材料を使って質問や応答例がまとめられており、生徒が主体的に活動できるよう工夫されている。 (5) 生徒の興味・関心や発達段階に応じて、身近な題材から、日本文化、異文化、自然、社会、キャリア等多くの題材に触れることができるよう配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 各単元が、単元末の言語活動に向け、part ごとに聞く・話す活動による基礎的な技能の定着から読む・書く活動へと移行するよう同じ配列になっている。 (2) 「Useful Expression」では、日常的な場面を設定し、その状況でよく使われる表現を学習できるよう工夫されている。 (3) 「Tips」では、4 技能 5 領域の習得に必要なコツやポイントが示されており、生徒が自身の課題や必要感に応じて学習できるよう工夫されている。 (4) 年 3 回設定されている「project」では、goal に向けさまざまな角度や方法で考えられるよう、ウェビングやフィッシュボーンなど課題に応じた思考ツールが複数示されており、個に応じた思考力の育成に対応するよう工夫されている。 (5) 付属のデジタルコンテンツにより、「Let's Use」でのやりとりの見本動画視聴や、言語活動を手助けする活動用ワークシートを利用することができ、個に応じた学習に対応できるよう工夫されている。 (6) 各単元のとびらページに、その単元で扱う内容と活動についての goal が示されており、巻末の Can-Do 自己チェックリストと関連付けて評価することができるよう工夫されている。また、リストは見開きで 3 年間を確認することができ、英語学習全体を見通すことができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・各 part や単元、年 3 回設定されている project により、4 技能 5 領域を統合的に育成できるよう構成されている。 ・各技能の習得に向け、定着に向けた練習活動や表現活動、習得のためのポイントやコツがまとめられており、英語学習をとおしてさまざまな知識や、思考力、判断力、表現力が育成されるよう工夫されている。
5 総合所見	生徒の発達段階を考慮し、身近な題材から、日本文化、異文化、キャリア等多くの題材に触れながら学習が進められるよう工夫されている。年 3 回設定されている「project」により、既習の言語材料を活用して表現活動を行うことを通して、生徒自身が学習の定着を実感できるよう全体の構成が工夫されている。

採択基準	発行者名 光村図書出版 (Here We Go! ENGLISH COURSE)
1 教科の目標からの配慮	- 各単元に、4 技能の中からインプットとアウトプットそれぞれの Unit Goal が設定されており、その Goal に向けて繰り返し学習を進め知識及び技能を身につけることができるよう各 part に言語活動が仕組まれている。 - 各単元の巻頭に、目的・場面・状況が具体的に設定されており、学習を進めながら思考力、判断力、表現力を育成できるよう工夫されている。 3 年間の学校におけるストーリーを軸に、日本や他国の文化、環境、災害等多様な問題を自分事として捉え、主体的に学習できるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 1 学年では、「Let's be friends!」により小学校での学習を振り返る期間が設けられており、既習事項を繰り返し学習できるよう工夫されている。 (2) どの単元もとびらページ、part、Goal と同じ配列になっている。また、各 part は左側に本文、右側に関連した言語活動と、見開き 2 ページで学習できるよう配置されており、どの生徒も学習を継続しやすい構成となっている。 (3) 各単元の物語が、二次元コードからスライドアニメと実写動画の両方で視聴できるようになっており、生徒の発達段階、視聴目的、言語活動の種類によって使い分けることができるよう工夫されている。 (4) 学校生活から社会問題へと、題材が発達段階を考慮した配列である。また、教科書全体がストーリーを軸に展開されており、生徒が、登場人物を通して異文化や社会問題を自分事として捉え、学習できるよう工夫されている。 (5) 1 学年の教科書で使われているフォントや、写真や絵の配色がユニバーサルデザインの立場から配慮されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) どの part も、「読む」「聞く」「話す」「書く」の順に学習できるよう言語活動が配列されており、4 技能 5 領域が偏りなく学習できるよう配慮されている。 (2) 年 3 回位置づけられている「You Can Do It!」では、既習表現を使ってペアやグループで学習する言語活動が設定されており、習得した技能を繰り返し活用し、思考力、判断力、表現力を育成することができるよう工夫されている。 (3) 「Daily Life」では、場面や目的に特化した対話や表現を学ぶことができ、実社会に即したコミュニケーション力を育成できるよう工夫されている。 (4) 巻末付録に「英語の学び方ガイド」がついており、4 技能の学習方法や辞書の使い方、学び方のコツ、将来に向けた英語の学び方等を、個の必要感に応じて学習でき、学びに向かう力や人間性を高められるよう配慮されている。 (5) 巻末に、帯教材が設定されている。「Story Retelling」では、生徒が単元を学習した後に、絵を見ながら自分の言葉で単元の内容を説明できる教材がまとめられており、個に応じて主体的な学びができるよう工夫されている。 (6) 各単元の終末に、巻頭のものと同じ Goal が掲載されており、単元を通して学習した内容を自己評価できるよう工夫されている。また、各単元の Goal は、巻末にある「CAN-DO List」と連動しており、年間を通して自己の学びを評価できるよう配慮されている。
4 全体的な特色	- 登場人物のストーリーを軸に、英語学習を通して、学校生活や社会問題について自分事として捉え、考えたり表現したりすることができ、生徒が学習に向かいやすい構成となっている。 - 各単元の 4 技能の配列や、part から Goal への一貫した流れ、巻末にある帯教材や学び方ガイドなどの生徒も自身の学び方に沿ってストレスなく学習することができるよう配慮されている。
5 総合所見	一貫した流れで、見通しを持ちやすい工夫された構成と、登場人物を中心にしたストーリー性のある展開で、生徒が自分事として、楽しみながら学習を継続することができるよう工夫されている。

採択基準	発行者名 新興出版社啓林館 (BLUE SKY English Course)
1 教科の目標からの配慮	・基礎的な知識、技能を定着できるよう、各単元の各 scene で 4 技能 5 領域を段階的に学習する活動が位置づけられており、単元末にそれを統合的に活用する言語活動が仕組まれている。 ・目的・場面・状況を明確にした言語活動により、思考力、判断力、表現力を育成できるよう工夫されている。 ・生徒にとって身近な題材や現代の諸課題を扱った題材を取り上げることにより、主体的にコミュニケーションを図ることができるよう工夫されている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 1 学年の教科書では、巻頭に Let's Start を配置することにより、小学校での学習の振り返りを行い、中学校での学習の準備が十分できるよう工夫されている。また、読みやすいフォントが使われている。 (2) 各単元や scene に関連した写真や絵が豊富に挿入されており、生徒が視覚を通して思考することができるよう工夫されている。また、配色もカラーユニバーサルデザインの配慮がされている。 (3) 各単元末に位置づけられている「Listen & Think」「Read & Think」「Think & Speak」「Think & Write」では、段階的に学習を進められる 3 つの step が用意されており、生徒がスモールステップで学習できるよう配慮されている。 (4) 各 part が、見開きで左側が文、右側が練習活動になっており、2 ページをひとくくりでわかりやすく学習を進めることができるよう工夫されている。 (5) 年 2～3 回位置づけられている「project」では、4 技能 5 領域を統合的に活用し、自分の考えや思いを表現できるよう題材が工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 各単元のとびらに、input、output の両面から捉えた Unit Goal が設定されており、単元末の言語活動に向けて目指す姿が明確になるよう工夫されている。 (2) 各 part に、その時間に学習する話題に関連した Enjoy chatting が設けられており、small talk のテーマとして扱うことで、スムーズに学習に取り組むことができるよう配慮されている。 (3) 「Let's Talk」では、特定の場面が設定され、その場で使う特有の表現を学習することができるよう工夫されている。また、同じページに「Tool Box」が設けられており、生徒の意欲に応じて関連する言語材料を学習することができるよう配慮されている。 (4) 巻末付録の listening script では、各単元での listen and think が全文記載されており、個別学習や家庭学習等個々の生徒の意欲に沿った学習ができるよう配慮されている。 (5) 本文で扱った内容は、二次元コードを利用して音声や動画で確認することができ、生徒が自身の意欲に沿ってどこでも学習することができるよう工夫されている。 (6) 裏表紙には、4 技能 5 領域を具体的な評価基準で確認することができる CAN-DO List があり、学習進度に沿って自身の到達度を明確にすることができるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・3 年間を通して、読んでから話す、input から output など順を追って 4 技能 5 領域全てを学習することができるよう単元構成が工夫されている。 ・単元末の言語活動では、目的や場面に沿って 4 技能 5 領域を統合した活動を位置づけることで、思考力、判断力、表現力を育成できるよう配慮されている。
5 総合所見	各単元の配列が、4 技能 5 領域を順を追って学習し、知識及び技能を身につけた後に思考力、判断力、表現力を伸ばす言語活動を位置づける等、学習した内容が定着するよう工夫されている。

採択基準	発行者名 東京書籍（新編 新しい道徳）
1 教科の目標からの配慮	- 各教材で自己に問いかける発問「見つめよう」が用意されており、自己を見つめ直す学習ができるように配慮がなされている。 - 様々な人の意見に触れながら広い視野で多面的・多角的に考え、コラム「Plus」で教材の補充が図れるよう配慮がなされている。 - 様々な人の生き方を描いた教材が用意され、生き方について考える発問から自身の生き方を深められるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 重点項目として複数の教材が配置されており、生徒の発達段階に即して適切な話題や内容が取り上げられるような配慮がなされている。 (2) ポスターやグラフ、漫画などを用いて興味・関心を喚起し、道徳的価値の理解が深まるよう工夫がなされている。 (3) 3学年にわたって登場する人物に自分を重ねたり、「ぐっと深める」で自己の生き方について考えたりできる工夫がなされている。 (4) 探究の対話「p4c」や役割演技ができるコラムを全学年に配置し、多面的・多角的に考えて道徳的価値に迫ることができるように配慮がなされている。 (5) 文字は一般的な書体より少し太いユニバーサルデザインフォントを使用し、生徒の発達段階に応じた配慮がなされている。 (6) カラーユニバーサルデザインへの配慮から、さし絵や写真、図表等は適切な大きさと配置する工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 各学年 35 教材を配置し、さらに付録として 4 教材を配置することで、各校の重点内容項目や生徒の実態などに合わせた指導ができるように配慮がなされている。 (2) 学校行事や生徒の生活実態に基づいた教材が全学年で同一の時期に配置され、各校の全体計画に基づいた年間指導計画が効果的に作成できるよう配慮がなされている。 (3) 全学年で「いじめ問題」と「生命の尊重」について、それぞれ三つの教材を組み合わせるユニット化し、よりよく生きるための基盤となる道徳性について多面的・多角的に考えを深めていけるように配慮がなされている。 (4) 読み物教材に加え、写真やさし絵、ポスターなどの視覚から考える教材だけではなく、状況に応じて動画を用いての授業ができるように工夫がなされている。 (5) 巻末の自己の学びを振り返る用紙と各教材の脚注の「つぶやき」の欄から、生徒が自分自身の学びを実感したり、教師が生徒の成長を把握したりする工夫がなされている。
4 全体的な特色	- 全教材に生徒のつぶやきを書き込める枠を配置したり、漫画やさし絵を見開きに配列したりすることで、生徒が主体的に資料を読み取り、物事を多面的・多角的に考えられるように工夫がなされている。 - 巻末に付いている心情円を用いて見えない心を可視化することで、言葉では表現しにくい自他の気持ちを客観的に見つめたり、話し合いを活性化したりするよう工夫がなされている。
5 総合所見	- 各学年 35 教材を配置し、さらに付録として 4 教材を配置することで、補充・深化・統合の役割を果たせるように構成され、各校の重点内容項目や生徒の実態に合わせた指導ができるように配慮がなされている。 「見つめよう」の発問で生徒が教材から離れて自己を見つめたり、「ぐっと深める」の発問で生徒が人間としての生き方についての考えを深めたりすることができる工夫がなされている。

発行者名 採択基準	教育出版（中学道徳 とびだそう未来へ）
1 教科の目標からの配慮	- 各内容項目の教材が生徒の実態と関連するように配置されており、生徒自身が自己を見つめられるよう工夫がなされている。 - 動作化や役割演技、思考ツールなど、物事を広い視野から多面的・多角的に考えられる工夫がなされている。 - 教材末の「学びの道しるべ」では、生徒が人間としての生き方について考えを深められるような工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	- 各学年の第1教材では、生徒一人一人が自分の考えをもちやすく、活発な話し合いができる教材を位置付ける配慮がなされている。 - 教材冒頭右下「導入の問い」で、生徒の日常生活や同様の場面と道徳的価値の追求とが結びつく工夫がなされている。 - 教材末の「学びの道しるべ」の三つの問いによって、道徳的価値について段階的に学びを深められる工夫がなされている。 - 役割演技やリフレーミングなどの体験的な活動が複数回取り入れられ、多面的・多角的に考えられる工夫がなされている。 - 全ての教材の配色・マークと内容項目とが関連付けられており、道徳的価値について考えられるよう配慮がなされている。 - 本文にはユニバーサルデザインフォントを使用したり、話者のイラストを会話文の上に配置したりする工夫がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	- 学年に応じ、巻頭に配置されている「さあ、道徳を始めよう！」の漫画と、「道徳科の学習では、」の紹介、第1教材とが関連付き、内容項目も含め発達段階に応じた配慮がなされている。 - 全学年で複数の教材とコラムを組み合わせたユニットや、充実した補充教材を基に、発達段階に応じた柔軟なカリキュラム編成が可能となる工夫がなされている。 - 漫画や端末でのやり取りをイラストにした教材や意識調査を掲載したコラムを基に、現代的な課題である「情報モラルと情報活用力」について、多面的・多角的に考えられる工夫がなされている。 - 写真、絵本、漫画など内容理解のしやすい多様な教材が掲載されており、読むことに時間を取られず考える時間を十分に確保することができるよう配慮されている。 - 巻末に、学期ごとや1年間を振り返るページが設けられており、道徳性に係る生徒の成長の様子を確認したり、学びを把握したりすることのできる工夫がなされている。
4 全体的な特色	- 教材を基に問題意識をもつ問い、自分ごととして多面的・多角的に考える問い、自分を振り返りこれからの生き方について考えを深める問いの三つの問いによって、道徳的価値についての考えを深める工夫がなされている。 「いじめ等の人権課題」「持続可能な社会」「生命の尊重」について、複数の教材を連続して扱ったり、コラム「ひろば」と組み合わせたりして、多面的・多角的に深めていく工夫がなされている。
5 総合所見	- 教材末の三つの問いによって、生徒自身が道徳的価値について段階的に学びを深められる工夫がなされており、教材とコラムを組み合わせることで、多面的・多角的な考えができるように配慮されている。 「いじめ等の人権課題」「持続可能な社会」「生命の尊重」のテーマについて、複数の教材とコラムでユニットが構成されており、全学年で系統的に扱うことで、考えを深められるよう工夫がなされている。

採択基準	発行者名 光村図書（中学道徳 きみがいちばんひかるとき）
1 教科の目標からの配慮	・ 学びのテーマに基づき、生徒が主体的に教材と向き合いながら道徳的価値の理解を深め、生き方について考えを深められるように工夫されている。 ・ 「見方を変えて」という主発問と視点を変えた問いが設けられ、多面的・多角的に捉えることができるよう工夫されている。 ・ 「つなげよう」では、他教科や日常生活など自分との関わりで考えを深め、広げていく工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 生徒の成長に寄り添うようなユニットのテーマを設けることで、学習の見通しをもち、複数の内容項目を関連付けて考えられるよう配慮されている。 (2) 全ての教材に「考えよう」を設け、生徒が自ら何を学ぶのかを意識して考えることができるように配慮されている。 (3) 各学年の第2教材で「問う」という観点で整理した学び方が示されており、自ら問いをもち追求することを喚起する工夫がなされている。 (4) 「チャレンジ」の学習活動では、生徒が問いを立て話し合いながら考えを深めたり、役割演技によって考えを交流し深めたりできるよう配慮されている。 (5) 全ての教材が発達段階に応じた分量であり、中心的な問いと連動した場面にはさし絵を用意するなど生徒が考えやすいよう工夫されている。 (6) 読み物教材の他にも、視覚的に生徒の興味・関心を喚起する漫画形式の教材、絵本から転載した教材等を位置付けるなど工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 3 学年を通じて、「中学生としてどんな自分でありたい？」など、生徒の発達段階や生活に合わせたユニットテーマを複数設け、生徒が複数の教材で考えを深められるように教材が配列されている。 (2) 教育活動全体を通じて行う道徳教育を意識し、職場体験学習などの学校行事が想定される時期に関連した道徳科の学習が行えるよう、教材配列が配慮されている。 (3) 「いじめ問題」では、読み物教材と具体的な活動を伴う「まなびをプラス」を組み合わせ、生徒が自分ごととして全学年を通して系統的に問題を捉えられるよう工夫されている。 (4) 読み物教材において、中心的な発問の場面や道徳的な問題が起こっている場面にさし絵を配置し、内容理解を助け、思考の時間を確保できるよう配慮されている。 (5) 1 時間ごと、シーズンごとの学びを振り返ったり、1 年間の自分の成長を振り返ったりできるような学びの記録から、教師が生徒の成長を把握できるよう工夫されている。
4 全体的な特色	・ 「道徳で大切にしたいこと」として、「自分に問う」「友達と問い合う」「生き方を問う」といった「問う」に着目した様々な活動を設けて、自分ごととして考えられるよう工夫がなされている。 ・ 各学年で、人権に関わる三つの教材とコラムを組み合わせるユニットを構成し、3 年間を通して人権に対する感覚を養うことができるよう教材の配列がなされている。
5 総合所見	・ 自分との関わりで考えられるような身近な表現でユニットにテーマをもたせ、「考えよう」「見方を変えて」「つなげよう」などの道徳的価値の理解を深める発問を示して、多面的・多角的に考えられるような工夫がなされている。 ・ 生徒の心に響く優れた教材により、ねらいとする道徳的価値が明確になり、補足なしに自然に考え始めたり、自分と重ねて考えたりして、自己の生き方についての考えを深められるよう工夫がされている。

発行者名 採択基準	日本文教出版（中学道徳 あすを生きる／道徳ノート）
1 教科の目標からの配慮	- 全ての教材の冒頭で学びのキーワードが示され、生徒が自分との関わりで主体的に取り組めるよう配慮がなされている。 - 教材末に「学びを深めよう」を設定して、話し合いや役割演技などから多面的・多角的に考えられるよう配慮がなされている。 - 別冊の道徳ノートを用いて、自分の考えをまとめることで、自己の学びを振り返ることができるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	- 発展的に学習が進められるよう各学年のテーマを設定し、学校行事や日常生活との関連に配慮がなされている。 - 時代を切りひらいてきた先人や今を生きる人物の多様な生き方に触れることができる教材で、学習意欲を喚起できるような工夫がなされている。 - 教材のねらいに迫る発問と自分に生かすための発問が示され、生徒が主体的かつ柔軟に学習できるよう工夫がなされている。 - 教材末に問題解決的・体験的な学習に適した「学びを深めよう」を設定し、納得解を得られるよう配慮がなされている。 - 教材は右ページ始まりの見開き構成で、一文の途中でページをめくることがないように見開き単位の配慮がなされている。 - ユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、性別、人種等に偏りが無い内容やさし絵を用いて多様性に配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	- 生徒が発展的に学習できるよう各学年のテーマを設定し、いじめやよりよい社会に関わる内容に関する教材が自分ごととして捉えやすい適切な時期に配列されている。 - 学校行事の実施時期との関係を考慮して教材が配列されているとともに、学校生活だけでなく地域・家庭生活とのつながりでも授業が展開できるよう配慮がなされている。 - いじめを自分ごととして捉えるために、いじめと向き合うための直接的・間接的な教材とコラムを複数提示することで、多面的・多角的に考えられるよう配慮がなされている。 - さし絵で登場人物の表情が繊細に描かれるとともに、登場人物をページ下の小窓に抜き取ってピックアップすることで、生徒の内容理解を助けることができるよう工夫がなされている。 1教材1ページの道徳ノート（別冊）で、生徒が自分自身の学びの積み重ねを実感できることで、教師が生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握できるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	- 重点テーマについて継続的に学習ができるように、直接的・間接的な教材とコラムを連続して配置することで、自己の生き方を見つめ、多面的・多角的に考えを深めることができる工夫がなされている。 - 全教材で「気付く」「考える・議論する・深める」「見つめる・生かす」の3ステップで1時間の見通しをもって学べるよう工夫がなされており、発問も二つに精選されているなど、柔軟に授業ができるよう配慮がなされている。
5 総合所見	- 多様な教材やコラムを用いて「いじめ」と「よりよい社会」についてのユニットを組み、複数回配置していることが特徴であり、重点的かつ継続的に学習できるよう工夫がなされている。 - 唯一別冊の「道徳ノート」が具備されており、学びの足跡を蓄積することで、生徒自身が成長を感じることができるとともに、教師が生徒の成長を継続的に把握することのできるよう工夫されている。

採択基準 発行者名	学研教育みらい（新版 中学生の道徳 明日への扉）
1 教科の目標からの配慮	・ 巻頭に多様な学び方や「考えを深める 4 つのステップ」が示されており、生徒が自己を見つめられる配慮がなされている。 ・ 現代的課題や他教科等とつながる教材が配置されており、生徒が多面的・多角的に考えられるよう配慮がなされている。 ・ 様々な人々の生き方が取り上げられており、生徒が自己の生き方について考えを深められるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 様々なテーマで学べるよう教材が構成されており、中でも複数の内容項目で「いのち」について考えることができるよう配慮がなされている。 (2) 主題名を記載せず、印象的な言葉「キーワード」を提示することで、生徒の問いが生まれ、スムーズな導入になるよう工夫がなされている。 (3) 考えを深めて対話を促す特設ページ「深めよう」が配置されており、主体的・対話的に学習できるよう工夫がなされている。 (4) 教材の内容項目に即した「クローズアップ」が配置されており、生徒が教材を軸として多面的・多角的に学べるよう配慮がなされている。 (5) 文字情報を補うイラストや図表とともにメモ欄が配置されており、内容や問題を捉えやすくなるよう配慮がなされている。 (6) AB判の教科書で紙面にゆとりをもたせ、全ての教材が見開きから始まるなど、教材に集中して取り組みやすくなるよう配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 行事や季節などに合わせたストーリー性のある教材が、生徒の発達段階に応じ、どの学年においても二つの発問や問いかけとともに適切に配列されるよう工夫されている。 (2) 特設ページ「深めよう」で教材の登場人物を演じる活動やSNSの使い方を議論する活動が示されており、創意工夫して適切な指導計画が作成できるよう配慮がなされている。 (3) 異なる内容項目の教材を「持続可能な世界のために」など大きなテーマで連続して扱う「ユニット学習」が各学年3回設定されており、生徒が広い視野で多面的・多角的に考えるための工夫がなされている。 (4) 読み物教材の登場人物がイラストを用いて紹介されたり、実在する人物に写真と解説が添えられたりしており、生徒の学習指導に生かせるものになるように配慮がなされている。 (5) 今の自分について書き留めるスペースや「学びの記録」「学びのメモ」を活用し、生徒の学びを蓄積することで、教師が生徒の成長を把握できるよう工夫がなされている。
4 全体的な特色	・ 主題名を教材の前には書かず、問題意識を高める「キーワード」を配置することで、生徒の教材に対する興味を喚起し、主体的に考えられるよう工夫がなされている。 ・ 最重点テーマを「いのち」として、「生命の尊さ」を中心に様々な内容項目で命の尊さについて考えることで、人権を重んじ、多様性を受け入れながら他者とともによりよく生きることについて考えられるよう教材が配列されている。
5 総合所見	・ 教材と出会う、教材を基に考える、他者と話し合って磨き合う、自己の生き方につなげるという4つのステップが展開され、生徒が主体的に問題意識をもち、学習できるように工夫がなされている。 ・ 現代的な課題をテーマとしたユニット学習を設定するとともに、「いのち」について学ぶことができる教材を、年間を通して繰り返し扱うことで、よりよく生きることについて考えられるよう工夫がなされている。

採択基準 発行者名	あかつき教育図書（中学生の道徳）
1 教科の目標からの配慮	- 全ての教材の終末に、自分ならどうするかを考える「自分との対話」が配置されており、道徳的価値を問い直せるよう工夫されている。 - 複数の理由を考えたり、別の立場から思いを想像したりする発問を提示することで、様々な視点から考えられるよう工夫されている。 「よりよく生きる喜び」を重点項目の一つとし、多くの教材が配置され、様々な生き方について考えられるよう配慮がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 現代的な課題である「いじめ問題」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」をユニット化し、教材を配列している。 (2) 漫画や発達段階にあった教材等、多様な教材が精選されており、生徒の興味・関心を喚起できるよう工夫されている。 (3) 「主体的な学びを促す発問」や「対話的な学びを促す発問」が設定され、ねらいに沿って考えを深める工夫がなされている。 (4) 「マイ・プラス」では、体験的な学習等が盛り込まれ、対話を通して思考を深められる工夫がなされている。 (5) 文字情報をはじめ、デザインの違い等で必要な情報が読み取れるよう配慮がなされている。 (6) 生徒が先入観なく教材に出会うことができるよう、教材冒頭には、内容項目の4つの視点のマークのみを掲載するなど工夫されている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、 他者との協働、まとめと評価	(1) 3年間を通して、全学年で「いろいろなテーマから学ぶ」というページを設け、生徒に考えさせたい10のテーマから、複数の教材で多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。 (2) 各学年、生徒の身近な題材を取り上げた「Thinking」というコラムページが教材の後に設けられており、教材での学びからさらに視野を広げられるような工夫がなされている。 (3) 発問は「自分を見つめて考える」発問と「考えを深める」発問の2点で構成されており、生徒が自分ごととして考えたり、多面的・多角的に考えたりできるよう工夫されている。 (4) 登場人物の関係性を構造的に図示したり、四季や伝統文化の具体を示す写真を配置したりすることで、生徒が教材の内容の把握が容易になるような配慮がなされている。 (5) 学期や1年間の自分自身の授業の取組を振り返ることができるシートが巻末に設けられており、生徒が自分自身の道徳性に係る成長の様子に気付くことができるような工夫がなされている。
4 全体的な特色	- 内容項目の道徳的価値について深く考えられるような2つの発問が設定されており、生徒一人一人が自己を見つめ、多面的・多角的に考えていけるよう配慮されている。 - 現代的課題「いじめ問題」「情報モラル」「キャリア」「共に生きる社会」について複数の教材をユニットとして扱い、重点的に学習できるよう工夫がなされている。
5 総合所見	- 読み継がれてきた教材を数多く配置したり、長野県を含めた各地の地域教材を配置したりすることで、生徒たちが道徳的価値の理解を深められるよう工夫されている。 - 全ての学年の全教材で、「いろいろな見方で考える」と「考えを深める」の二つの発問に絞り込み、指導のねらいを明確にして学習ができるように工夫されている。

発行者名 採択基準	日本教科書（道徳 中学校）
1 教科の目標からの配慮	- 各教材で、発問に「考えよう」「深めよう」と示し、道徳的価値の理解を深める活動が端的に分かるように工夫がなされている。 - 郷土教材、国際社会に関わる教材をはじめ、哲学的な教材を配置し、多面的・多角的に考えられるよう工夫がなされている。 - 巻末の付録の思考ツールにより、自他の価値観への理解を多面的・多角的に深められるよう工夫がなされている。
2 生徒の学習活動への配慮 ○内容の程度 ○学習活動への誘意性 本文、見出し、設問、提示文等の表現、さし絵、写真、図表、配色、フォント、コントラスト、レイアウト等	(1) 啓発週間や学年行事に対応した教材で編集され、興味・関心や発達段階に応じて考えながら読むための配慮がなされている。 (2) 教材の最初に漫画教材による導入や二次元コードが配置され、教材への興味・関心を喚起する工夫がなされている。 (3) 巻末のカードの活用により、生徒自身が自分との関わりで道徳的価値の理解を深めるための工夫がなされている。 (4) 哲学的な教材や現代的な課題に関わる教材を配置することで、多面的・多角的に考えて話し合えるように配慮がなされている。 (5) 写真資料、さし絵、動画、漫画教材を適所に挿入した紙面構成で、教材の視覚化による内容理解を促す工夫がなされている。 (6) 紙面の広いA B判の下段に難しい言葉についての説明があり、内容の把握が容易にできるような配慮がなされている。
3 学習指導への配慮 ○単元・題材の配列 ○内容の扱い 「知識及び技能の習得」のための工夫、 「思考力、判断力、表現力等の育成」のための工夫、 「学びに向かう力、人間性等の涵養」のための工夫、 関連性・連続性、個に応じた学習、他者との協働、まとめと評価	(1) 3年間を通して共通の登場人物を描く教材が掲載され、発達段階に対応したテーマを扱うことで、登場人物へのより深い共感や自己との対比をねらった配列への工夫がなされている。 (2) 教材の冒頭に主題名を記載しないことで、生徒に学習内容に対して「何について学ぶのか」という先入観をもたせず、生徒の実態に応じ指導計画が作成できるよう配慮がなされている。 (3) 多様性や情報モラル、SDG sを扱った教材を複数配置することで、新しい技術や多様な価値観に由来する現代的な課題を多面的・多角的に考えられるよう配慮がなされている。 (4) 教材の内容や特徴に合わせて、さし絵や写真を使い分けたり、図表によるデータを示したりすることで、より効果的に情景や心情、客観的な情報が伝わるように工夫がなされている。 (5) 思考ツールの活用により、自分自身や周囲の人々が大切に考える価値観について理解を深め、これまで気付かなかった価値観の発見を促すための工夫がなされている。
4 全体的な特色	- 付属の思考ツールを活用し一人一人の考えを可視化することで、自己の道徳的価値の理解を深めるような工夫がなされている。 - 学習指導要領の内容項目順に教材が配列されており、学校行事や啓発週間に応じて教材の順番を入れ替えた指導計画が作成できるよう配慮がなされている。
5 総合所見	- 学習指導要領の内容項目順に教材が配列されていることから、学校の特色を生かした年間指導計画を立てることができるよう工夫されている。 - 教材の冒頭に主題名を記載しないことで、生徒に学習内容に対して「何について学ぶのか」という先入観をもたせず、生徒の実態に応じ指導計画が作成できるよう配慮がなされている。